

令和6年度市政懇談会で出された質問・意見等に対する回答

資料3

市政懇談会に参加いただいた皆さんが、水色の付せんに記入いただいた内容「もっと詳しく聴いてみたい取組や、疑問に思ったこと」のうち、特に多くの質問・意見等をいただいたテーマに対する市の回答を掲載しています。

なお、いただいた全ての質問・意見等は、各部署に共有させていただき、今後の取組の参考とさせていただきます。

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
緩和策	観光交流	先日幸せの黄色いポストにほこりがたまっていて残念に思いました	黄色いポストですが、市制10周年のときに、10年後の自分や家族、友人に宛てた手紙を出すという企画があり、市政20周年の令和6年5月に発送しました。市長の発案で、幸せの黄色いハンカチの映画をヒントに、刷毛とペンキを買って、職員たちの手で実現することができました。今、市役所の外壁工事が行われていて、毎日拭かないと時間や見た人のタイミングで汚れていることもあると思います。別の会場でも「クモの巣が張っている」というお話を聞きました。できる限り綺麗にしようと気かけながら、掃除をしていますので、またお気づきの点があったらぜひ言ってください。幸せを呼ぶ黄色いポストと言いながら汚れていると非常に問題があると思いますので、しっかりやっていきたいと思います。	企画 財政 部
緩和策	観光交流	菊川ポテンシャルとしてゴルフ場があるが、提携してパック旅行などに活用しては。静岡空港活用しては。	積雪が多い地域では冬でもゴルフができる旅行先には一定の需要があるため、富士山静岡空港の周遊先を中心に来訪客や宿泊客の促進に繋がる方策を検討してまいります。	建設 経済 部
緩和策	教育環境整備	給食費の負担軽減はどのくらいか。無償にはならないか	給食費は、肉や野菜など給食に使用する食材料費をご家庭に負担をいただいている費用です。給食の調理・配送に関する光熱費や人件費などは市が全て負担しています。令和5年度に関してましては、食材料費が年間約2億7000万円になりましたが、その内の約3100万円が昨今の物価高騰による上昇分であり、その分について、市が負担の軽減を図り、小学生1人当たり約7000円、中学生1人当たり約8000円を年間で減免いたしました。 給食費が無償にならないかというご質問ですが、国が給食費を無償化しようという動きがあり、市としましては、国の動きや義務教育において地方自治体間の格差が出ないようにすることを鑑み、ただちに給食費の無償化をすることは考えておりません。国の責任でやってもらいたいということで、国へ無償化の要望を出している状況でございます。	教育 文化 部
緩和策	教育環境整備	学校の未来を考える会のメンバーは	教育委員会で「学校の未来を考える会」を昨年発足し、今後の学校のあり方について検討を始めているところです。主に少子化によって、どうしても小規模校が出てきますのでどうしようということが主になりますが、こどもにとってどのような教育環境が良いか、集団規模が取れるのかという検討をしております。メンバーは、まず有識者ということで、静岡大学の教授であります武井教授に委員長をお願いしております。また、掛川市で再編等を経験してきた元校長の方、学校の校長、教職員、こども園の方が委員に入っております。今年度については少し内部的な検討をしているためこうしたメンバー構成になっておりますが、来年以降少し住民の代表の方に入っていて、具体的な策を検討していきたいと思います。	教育 文化 部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
緩和策	教育環境整備	少子化に向けみなみこども園、南小学校の将来像は	少子化に対する学校の施設のあり方ですが、先ほど説明がありましたが、学校の未来を考える会っていうのを設置しまして今後の学校をどうしていこうっていう検討を始めております。その中で将来的にどのぐらい人数になるっていうのを今少し試算をしているところです。 実は南小学校が現在6年度ですと128人の児童がいらっしゃいます。そこが昨年度5年に生まれた子供が12年に入学するようになりますけれど、令和の12年には約80人ぐらいという人なんじゃないかということで推計をしております。 こういった少子化については、みなみこども園、南小学校だけではなくて、菊川市どこも減ってくると、少し増えてるのが加茂小ぐらいのもので全体的に減ってきていますので、今後の未来を考えているところです。 何が駄目かって言いますと、やはり子供の教育に関する集団規模がなかなか取れないというのが一番問題だもんですからそこが解決できるように、こういった政策がいいかっていうことで今学校の方で相談をさせていただいているところです。これに関しましてはまだこれから今後もずっと続いていきますので、いつかといいますか、あの段階に行きましたらまた市民の方にもご説明に参りたいというふうに考えておりますのでよろしくお願いします。以上です。	教育文化部
緩和策	健康長寿	高齢者の増加に向けての具体的な方策をわかりやすく説明できる項目を聞かせてほしい。若い人中心の計画はいいが、現状の高齢者向けの対策が見えにくい	高齢者に対する対策につきまして、今後もしばらく高齢化が進み高齢者のみの世帯も増えていくと言われています。元気で健康で過ごせるように、「食事・運動・社会参加」、この3つのキーワードは私達も意識していろんな事業をやっていききたいと思いますし、皆さんもぜひそのキーワードを頭に置いていただいて、ご自身ができることから少しずつ取り組み、健康に過ごしていただきたいと思います。また、地域の皆さんとの繋がりをぜひ持っていたきたいと思います。生活していく上で、体のこと、生活のことなど心配なことがありましたら、民生委員にご相談いただいたり、プラザけやきにあります地域包括支援センター、高齢者の相談窓口にお気軽にご相談いただければと思います。 高齢者に関する介護予防事業もたくさんはやっていますが、なかなかまだ見えにくいということですので、また気軽に参加できて、皆さんの目に届くような事業の方を考えていききたいと思いますので、機会がありましたらぜひご参加いただければと思います。	健康福祉部
緩和策	子育て支援	こども園の市営から民営、民間への移行について	おおぞら認定こども園の民営化については、令和3～4年に「運営形態等懇話会」で、さまざまな立場の方からご意見をいただきました。昨年度、「運営法人選定委員会」の中でご意見をいただき、「社会福祉法人春献美会（シュンケンビカイ）」に来年4月に移管いたします。移管にあたっては公私連携制度を活用し、全く手を放してしまうのではなく、どのような運営をしていくか、関わりを持っていくという形で協定を結んでおります。今年度、引き継ぎを行い、来年4月の時点では、最適な環境で質の高い教育・保育を提供できるよう進めていきます。	こども未来部
緩和策	子育て支援	安心して子育てできる環境の整備について	安心して出産・子育てができるようにライフステージ別に切れ目のない支援を目指して、様々な事業を実施しております。 子育てで一番心配な部分が、経済的な負担の部分です。こども医療費の無償化、児童手当の拡充、不妊治療費の助成、出産・子育て応援給付金等を整備して、経済的支援、負担の軽減に努めています。特に不妊治療費の助成については、少子化対策に直結する事業であり、助成額や補助率、申請の回数、年齢制限などを全国トップレベルになるように、現在、制度の中身を検討中です。 また、本年度「こども家庭センター」を設置いたしました。令和6年9月末現在で延べ4,129件の相談件数があり、昨年9月末現在の数字が2,309件ということで、倍増しているような状況です。 ニーズの把握については、現在作成している「こども計画」の策定に当たってアンケート調査を実施しました。その中で市民の皆さんが何を望んでいるか、ニーズ把握を行っております。 こう言った事業を通じて、安心して出産・子育てできるように取り組んでいる状況です。	こども未来部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
緩和策	子育て支援	子育ての要素として、医療機関の充実があるので積極的に誘致をしていただきたい。特に子供について	確かに子育ての要素として、医療機関の充実が非常に重要だということは私どもも認識しているところでございます。ただ一方で、中東遠地域はお医者さんの数が実は非常に少ない地域でして、医者の数が多いとか、開業医さんがたくさんいるという地域ではございません。そういう中で開業医の皆さんの努力や、菊川病院を中心にこの地域の医療を一生懸命守っているというのが状況でございます。ですから、また新しく開業医の先生に来ていただけるのは我々も非常に嬉しく、希望するわけなんですけども、どちらかという、開業医の先生が今高齢化してきて、特にお医者さんというのは資格が必要ですから、なかなか跡継ぎを探すのが厳しい世界だということで聞いております。市としてもそこは努力していきたいなと思っております。それともう一つ皆さんにご承知いただければと思うところは、実はお医者さんの世界にも働き方改革があり、この4月からお医者さんもやたらこう長い時間働けないという状況になっています。お医者さんも休みを取ったり交代でしっかり勤務して休みをしっかりと取ってくださいよという時代になっています。議会にもご説明させていただいたんですが、周産期医療といいまして、お産の関係のお医者さんは特にお産はいつかあるかわかんないので、普通に日直してる以外にも待機という時間もあったりすることから、非常に大変な勤務になります。それと産科のお医者さんは人数が少ないので、これをどうしようかということで、磐田から菊川・御前崎くらいまで一つの医療圏域なんですけども、そこに浜松医大の先生も入っていただいたり、各病院の先生も入っていただいて、どうしようかという議論を進めてきました。今一番はお医者さんの数が少ないので、お医者さんの日直をどうしようかというような話を今させていただいて、当番で磐田と中東遠と当番でやっていこうというような話で決まったところであります。今、医療というのが非常に厳しい状況になっていますので、市民の皆さんにもご迷惑かけるかもしれませんが、お医者さんも人ですので、働き方改革の中でご理解いただければありがたいなというふうに思っております。	菊川病院
緩和策	子育て支援	少子化に向けみなみこども園、南小学校の将来像は	市として市内保育施設に行っている支援として、園舎等工事に対する補助金や保育士登録制度、保育士研修会の実施、情報共有などを行っております。みなみこども園において、今後も最適な環境で質の高い教育・保育が受けられるように市としても支援していきたいと思います。	こども未来部
緩和策	子育て支援	保育園の取り組みについて	保育園の取り組みについて、幼稚園と保育園の他に、こども園という幼稚園と保育園のこどもが一緒に過ごす施設と、もう一つは、小規模保育所という0歳から2歳までの小さいお子さんを預かる施設、この4つの施設が市内にあります。本市の場合、保育施設は民間の方に担っていただいている特徴がありますので、民間の方とよく連絡を取り合って、しっかり連携をしていきたいと思っております。たとえば、民間保育施設が施設を建てる場合の補助や、支援が必要なお子さんがいらっしゃる園に対して人件費の支援などをしております。	こども未来部
緩和策	子育て支援	おおぞら認定こども園を民営化、小笠北幼稚園を公営とする理由は何か	おおぞら認定こども園の民営化、小笠北認定こども園の開園につきましては、菊川市の将来を担う子どもたちのことを考え、最適な環境で質の高い教育・保育を受けられるよう、来年度4月に向けて準備を進めております。おおぞら認定こども園の民営化につきましては、民間の活力を利用しようということで、今現在進めております。この事業を進めるに当たっては、令和3年、4年の2年間に懇話会でさまざまな立場の方から意見をいただく中で進めてまいりました。小笠北認定こども園につきましては、菊川市内唯一の公立園になりますので、多くの方から「公立園の役割とは」というご意見をいただきながら進めてまいりました。現在の小笠北幼稚園の園舎は昭和52年に建設し、施設の老朽化が進んだことから、園の在り方について検討を重ね、園舎の建て替えとともに、保育ニーズに対応した小笠北認定こども園として開園することになりました。現在、愛称を募集をしていますのでそちらもぜひ応募していただければと思います。来年度は、小笠北幼稚園の園舎の解体、園庭、駐車場の整備を実施します。市内唯一の公立園になりますので、市全体の保育・教育の質を向上させ、市内全体での情報共有、支援が必要な児童の受け入れなど、本市の拠点園になるよう進めてまいりますので、皆様のご理解をいただきたいと思います。	こども未来部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
緩和策	子育て支援	子育て支援について聞きたい。	こども未来部では、安心して出産・子育てができるよう、妊娠期・出産期・幼児期等、ライフステージ別に、切れ目のない支援を目指し、各種事業を実施しています。その際には、子どもの成長に合わせた相談支援・健診等、妊娠期から子育て期まで、行政が切れ目なく支援を行っています。 経済的負担軽減としては、こども医療費の高校生年代までの無償化、児童手当の拡充、不妊治療費の助成、出産・子育て応援給付金の支給などを実施しています。また、子育てにおいて、不安や悩みは尽きることはなく、これらに寄り添えるよう、令和6年4月、妊娠期から子育て期までの総合的な相談窓口として、「こども家庭センター」を設置しました。昨今の子育て環境の変化や、国の動向に注視して、今後も子育て支援に取り組んでまいります。	こども未来部
緩和策	人口減少対策	婚活活動にも市として取り組んでいただきたい	子どもの数が減っている一つの要因として結婚する方が非常に減っています。その要因として、収入の不安であったり、そもそも出会いが無い、出会いの場がないということがあげられます。こうしたなか、結婚を希望する人に対しての支援として静岡県と県内35市町で運営する結婚をサポートする「ふじのくに出会いサポートセンター」を共同で運用しています。結婚相談や婚活イベントの実施、ライフデザインの相談などを行っており、公的機関が運用し、面談と本人確認をして入会とするという信頼性の高い運用をしています。また、県の事業で市も協力した婚活事業が市内で行われ、実際にカップルが成立したという話もあります。少しずつですが、こうしたことに取り組んでいます。	企画財政部
緩和策	人口減少対策	現在、結婚相談員をしているが、磐田、袋井、掛川、菊川4市でやってきた事業が来年3月31日をもって終了となる。少子化と叫ぶが若い人が使う機会がなくなってしまうので、今後菊川市として、これに代わる場を考えているか教えてほしい	結婚相談員は社会福祉協議会の事業で、4市の中で結婚の希望のある方を協力して支援していましたが、他の自治体がこの事業をやっていかなかで、男女間の関係ということもあり事業を終了してしまい、菊川市だけではできないということで廃止することになったと聞いています。 少子化、その前の結婚の支援についてですが、現在県と市町で公的な結婚を支援するサポートセンターを運営しております。県が運営し、信頼性が高いことを売りにしています。入会手続きにはセンターの相談員と面談して身分証明書などの本人確認が必要となります。市でもセンターを紹介をしながら、希望の方がなるべく多く結婚まで進んでいただければと思っています。対面での相談も非常に効果がありましたが、県と連携しながら、こうした支援をしていきたいと考えています。	企画財政部
緩和策	人口減少対策	出生児減少に対する対策、特に居住面、住宅の充実	出生児が減っていることに対して、どんな支援をしているかについてですが、一つは結婚に対する支援になります。子どもを産む前の結婚について、アパート代などの補助として最大60万円を上限に結婚費用の支援をしています。そのほかに、移住したい、家建てたいという場合には、40歳未満の年齢制限がありますが、25万円を上限に補助を行っています。さらに、その世帯にお孫さんがいて3世代で住むといった場合には、40万円まで上限を引き上げて補助する支援をしています。	企画財政部
緩和策	人口減少対策	人口減少への具体的な対策は	2020年までは菊川市は人口が増えていて、コロナが発生してから減っています。全国的にもこうした傾向がありますが、一つの要因としては結婚の数が減っていることが考えられます。それは経済的に不安があることや、子育てにお金が必要ということが要因ではないかと言われています。これに対して、抜本的な対策とは言えませんが、結婚新生活を支援するための補助金を出しています。例えば、夫婦ともに29歳であれば、家を借りたり、引っ越ししたりするときに最大60万円を補助する支援を行っています。また、若者世代が定住をするという時には、菊川市独自の補助金として40歳未満の方を対象に、一般世帯で最大25万円、三世帯同居などの場合には40万円補助する支援を行いながら、定住に向けた取組を実施しています。	企画財政部
緩和策	人口減少対策	15歳～69歳ひとくくりのデータになっているが、どの年代の出入りが多いのか。またその減少に対する対応は	20代・30代が一番出入りが多くなっています。大学生のときは住所をそのままにして県外へ出て、実際に就職するときに菊川市から住所を動かすということが多くありますし、後に転職で異動することがあります。特にここで課題になるのが、男性の社会動態はプラスとなっていますが、女性の社会動態はマイナスになっていることです。その要因として、女性の働く場所がないことが一つの大きな課題と考えられます。また女性が働く場所を確保することはもちろん、宅地造成などで住む場所を用意することも重要になります。住宅環境の整備については、現在、菊川駅に南北自由通路を作っていますので、駅北は有意な社会資本であり、駅と併せて有効活用することで、人口全体を確保していく基盤となると考えています。人口減少に対しては、いろいろな施策を実施しながら、人口確保に向けて対処していきたいと思います。	企画財政部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
緩和策	人口減少対策	減少する就学世代、学校の未来、特に内田小の実態と今後のあり方について	少子化問題は本当に深刻な問題です。コロナ前、令和2年までは比較的大きな減少はなかったのですが、令和3年からかなり減ってきてまして、内田小地区の場合、出生数だけの数字ですけども、令和元年は19人、令和2年で12人、令和3年が8人、令和4年が8人、令和5年が10人と大きく減っています。ただ転入の関係で住基だけで見ますと、1人2人増えていたりするものですから、何とも言えない数字なんですけども、現実問題をお伝えした方がいいと思って伝えておきます。いろんな動きが今後ありますので、これだけでは判断できません。そして今小規模校と言われている学校があり、横地小も1桁の年代が2年間あります。それから小笠南小も1桁になるのが、2年間続きます。この3校が、おそらく小規模校ということで今後も検討をしていくことになると思います。小笠南小の場合には小笠地区の動きになるかと思うんですけども、内田・横地をどうしていくかっていうのが今後課題になってきます。小規模校としてどうやっていくかっていう方法を探っています。例えば、小規模特認校というのがありまして、特徴を出したりあるいは大規模だと少し学習が苦手な子で小規模で落ち着いてやりたいっていう子が実際にいるわけです。あるいはちょっと不登校になりかけて小規模だったらという、そういった意味で小規模校をどう生かしていくかっていう方法はいくつかありますので、その検討をしております。来年辺りに市民の方に少し入っていただいて、その検討を深めながら、再来年あたりにもしてできたら、皆さんに報告させていただきながら、皆さんで検討していただいて、選択していただくということを考えています。なるべく選択肢の多いような方法を考えています。	教育文化部
適応策	若者参画	若者参画への取り組み	令和5年11月19日に「若者のまちサミット」を開催し「菊川市こども若者参画宣言」というものを全国で初めて宣言しました。地域やNPO、学校、企業、行政など多様な主体が協働して、市全体で子供若者のまちづくりの参画を守り、育て支えていく姿勢を明確にするという目的のもとに、参画宣言をしたものです。 この宣言をしたことを受けて、「こども若者参画支援交付金」という若者が地域の課題を解決したい、活性化を図りたいといった取り組みに補助金を出して支援をしていく制度を今後設けていきたいと考えております。 また、参画宣言をした時の思いを形にしていくために、「こども若者参画協議会」というものを設置しています。これも高校生であるとか、学校の先生であるとかそういった方がメンバーにいらっしゃるんですが、出した意見を言う場であるとか、そういった人たちを取りまとめる人であるとか、いろんなご要望がありますので、協議会の中で検討しながら、さらに若者の方が意見を言いやすい場、市政に反映できるような場というものを作っていきたいと考えております。	総務部
適応策	教育環境整備	小中学校の一貫校の予定は	基本的には学びの庭構想をスタートした時点で、小中一貫教育を目指しています。 したがって今、菊西学舎と呼んでいるんですが、菊川西中学校区には堀之内小学校、横地小学校、内田小学校、そして加茂小学校、の4校があります。つまり加茂小と菊西中、横地小と菊西中が繋がるのではなく、この4つの小学校ができる限り横の連携をとって教科においては、同じような教育をしながらも地域の特性を生かしながら、一貫性のある教育を進めています。小学校と中学校との繋がりがただと、一貫性が比較的に弱くなります。また、今「小規模校」というものもあります。具体的にいきますと、横地小学校、内田小学校は若干人数が減っている、堀之内小と加茂小はかなり人数が多いので、そうした大規模校と小規模校がいかに連携するかということも踏まえながら、4つの小学校がいかに連携していくか。隣接型小中一貫校といいますが、学校は離れてるけど一貫性を持たせていくことを進めているところです。中身が分かりにくい話かもしれませんが、教育の面では同じような進め方をしていくということで、ご理解をいただきたいと思います。 広報菊川10月号に、コミュニティスクールが掲載されていると思います。今までは加茂小、内田小、横地小、学校ごとに運営協議会を作って、コミュニティスクールを作っていましたが、菊川市の場合はそうではなくて、菊西学舎が一つの大きな学校と考えて、コミュニティスクールを作っています。そこでもいろいろと小学校が連携しながら、菊西中と一緒に教育を進めていき、一貫性のある一貫校を目指しているところに繋がっていると思いますので、ご理解いただければと思います。	教育文化部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
適応策	教育環境整備	部活動の地域移行について	中学校の部活動につきましては、国の方針によりまして、学校の部活動から地域のスポーツ活動へ移行するということで進めております。先日、広報菊川でも少しお知らせさせていただき、NHKのニュースでも見た方もいらっしゃるかなと思いますが、特に今進めているのは、休日の部活動の移行です。ニュースで取り上げられましたが、中学の陸上部が今年の10月から実は3校合同で試行という形で、地域の方をお願いするようになっています。ですので、来年からは当然陸上部もなってまいります。他にも順次進めていきまして、令和10年の8月位までには全部の学校の休日の部活を地域に移行していく方針です。進め方の方向ですが、特に団体競技などはこどもが少なくなり、続けていけないというような状況です。特に今年も野球部が8月から菊川市で合同のチーム、3校の合同のチームになりました。来年からもソフトボールでありますとか、男子バレー、サッカー、バスケット等も3校の部活を一つにまとめて、合同部活と言いますけども、そんなことで始めさせていただいて、そこに地域の方に入らせていただいて、それを地域の部活に移行していくと、そんな方向で進めていきます。来年あがる小学校6年生のご父兄とかにもこういった説明はしていますので、また順次地域の方にもすすめてお話を出していきますので、その点ご理解いただければなというふうに思います。よろしくお願いいたします。	教育文化部
適応策	教育環境整備	菊川市のこれからの学校の在り方検討会で、少しでも決定した事例を紹介お願いします	現在、教育についてのさまざまな事柄について研究しているところです。現時点で決まっていることとしては、今後、地域と意見交換の場を設け、進めていくこととなります。	教育文化部
適応策	健康長寿	人生100年時代。80から90代になって楽しく暮らせていけるように思えてきた。市長に期待する	80から90になっても楽しく暮らしていけるように思えてきた、ということで、大変ありがたく思います。やはり年をとっても健康で元気で暮らしていけるというのは一番良いと思います。ぜひ、奥様、旦那様と仲良く、家族と仲良く、地域の方と仲良くいていただければと思います。普段外に出ることが多いというのは、一番良いことだと思います。ぜひ趣味を持っていただいて、活発に動いていただくことが本当に大切だと思います。この地域の良さに気候の良さがあり、一年中外に出ることができると思います。いろいろなイベントにも参加していただいて、100歳まで、もっと先まで、人生100年時代ということでいつまでもお元気で過ごしていただければと思います。	健康福祉部
適応策	健康長寿	80歳家庭の増加の対応は	80歳の高齢の方が増えてきたという話について、1人暮らしの方、それから高齢者世帯の方、本当に菊川市でも増えているような状況です。80歳を境に介護保険の認定を取る方がとても増えているような状況があります。先ほどお達者年齢のところでも言いましたが、やはり健康で年をとりたいという思いが皆さんあると思います。「キョウイク」「キョウヨウ」という言葉がありまして、「今日用事がある」「今日行くところがある」という「今日用」「今日行く」です。社会参加というところにつながっていくことになりますので、ぜひ健康でいただくために、「キョウイク」「キョウヨウ」ということを意識して頂けると良いと思います。もし、健康や生活などで心配なことが出てきた場合には、地域包括支援センターという高齢者の相談窓口がございます。小笠地域につきましては、家庭医療センターあかつちクリニックの中に地域包括支援センターの「あかつち窓口」というところがあります。もちろん受診されたついででも構いませんし、気軽にお電話かけていただければ、職員も対応して、お困りごとにつきましては、相談に乗ることができると思います。気軽にお声掛け、相談をいただければと思います。	健康福祉部
適応策	健康長寿	「人生100年時代適応スポーツ大会企画。高齢者と若者が一緒に参加スポーツ大会」等	お祭りでもいろんなところでお話させてもらいました。お祭りはまさしく地域の年の大きい方それから若い方が一緒になってやるというこの光景が、本当に大事な光景になるのかと思う中では、高齢者と若者が一緒にスポーツするというのは、面白いと思いました。この案の中で三つ目に書いてあるソフトボールで9名の合計が300歳と書かれているため、多分そういうルールを作って高齢者の人と若い方々が一緒になって、うまく300歳以上ということかな。メモ書きの中で「韓国で流行っています」と書いてありましたので、一つの参考事例として、地域の年の大きい方と若い方が自治会の中でそういうチームを作って自治会ごと、スポーツを通じて仲良くなって、そしてまた真剣にスポーツをするというのは、グラウンドゴルフとは違う世界があるのかなと思いましたので、参考にさせていただきたいと思いました。	教育文化部・健康福祉部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
適応策	健康長寿	お達者年齢が男女ともに良い結果が出ているようですが、バランスの良い食事、適度な運動、地域活動への参加の柱で菊川市独自の取り組みありますか。良い結果との因果関係は	お達者年齢が良い結果となった因果関係について少しお話をさせていただきます。 自分たちも何が良かったのかというのをいろいろ調べてみたところ、菊川市は、お茶や農業に従事されている人もとても多くて、高齢になっても体を動かす環境にある、温暖な気候というのもとても大きいかと思います。健康意識も高く、グラウンドゴルフをやっている人やウォーキング、いろんなところへ出かけている人がとても多いかと思います。そのため、高齢になっても活動的に生活できているのが菊川市ということで、その辺も因果関係の要素の多いところです。 あとは、平成18年ごろから介護予防という意識、認識が出てきたところですが、菊川市の場合、その頃から介護予防の取り組みの事業を地道に続けております。出前行政講座のメニューもたくさんありまして、市民の皆様によく活用をいただいているところです。そのようなところで生活習慣病も割と少なく、元気に高齢期を迎えて介護サービスを利用される方も比較的少ない地域ということで、お達者年齢が高くなったと分析をしているところです。 あと特徴的な取り組みですが、特に食事です。菊川市の場合、高血圧で治療されている人が多いという現状もあります。そこで少しずつですけれども、減塩に関する啓発をさせていただいたり、11月14日に内田地区センターで、出張健康チェックをやらせていただいたりして、地域へ健康チェックに出向いて、皆さんに身近でいろんな健康の度合いを感じてもらうというものにも力を入れているところです。 あと運動に関しては、年度末ぐらいにウォーキングコースを整理し直して、それを皆さんに普及したいと考えております。 菊川の場合、お茶だけではなく、トマトの生産も盛んですが、トマトはとても健康にもいいと言われています。2月24日、市制20周年記念で「きくがわ健康フェスタ」を開催します。健康チェックができたり、トマト展をやったり、お茶の淹れ方教室をやったりということで、健康に関するイベントをやりますので、ぜひまた皆さん足を運んでいただければと思います。	健康福祉部
適応策	健康長寿	お達者年齢の具体的な指標の出し方は	お達者年齢の指標の出し方については、死亡者数、要介護度の数字が主に関係しております。このため、死亡が少なく要介護が少ない市町はお達者年齢が長くなります。菊川市の男性は死亡が少なくて要介護が少ないという状況で、一番長い年齢となりました。女性につきましては、他市町と比較しまして死亡は少ない方ですが、要介護がやや多いため、県の平均を超えているものの、男性よりは順位が低くなっております。また、県西部地域は生活習慣病に起因する死亡は比較的少ないと言われております。特に当市の男性は特定健診に係るデータを見ますと、県と比較して肥満の人、生活習慣病の人も少なく、朝ご飯をしっかり食べて、間食も控え、ゆっくりよく噛んで食べる人が多いということが結果として出ていますので、こうしたことが健康に繋がっているのではと分析しています。	健康福祉部
適応策	健康長寿	75歳以上の高齢者1人暮らしが増えている。市の支援補助で集いの場を作ってほしい	高齢者が増えていくのは、どこの地域も同じような課題を抱えているかと思います。それで特に元気でいる「健康寿命を延ばす」キーワードとして、「食事・運動・社会参加」というものを示させていただいて、改めて進め始めているところです。その中の一つ居場所作りが社会参加に繋がるかと思えます。市では松風苑という和松会の施設で「いきいきサロン」というサロンをやっています。これは誰でも通えるというわけではなくて、少し足腰が弱くなったとか閉じこもりがちだといった最低限の基準を決めさせていただきながら開催しています。介護予防という面で送り迎え付きで週1回程度、通うことができます。もし何か少し心配な方がいらっしゃいましたら、まず、相談はあかつちクリニックの中にあります「地域包括支援センター」の窓口にご相談に行っていただければ、市でやっているサービスの説明をしたり紹介したりすることができます。実際には、サロンに通いたいとなるといろいろ申請手続きもありますが、地域包括支援センターの職員がお手伝いしながらやらせていただくようになります。 もしこれから何か新しくサロンをやりたいといった場合、もちろんいろんな支援が必要になってきますが、一つ相談先として市から社会福祉協議会に「生活支援コーディネーター事業」というものを委託しております。その中で地域に出向いて、居場所だとか買い物だとか移動に関するようなニーズの把握にコーディネーターが努めております。そこからどんなふうにサロンをやっていったらいいとか、この地域に必要な資源は何かというようなことで一緒に考えてくれるコーディネーターという方がいらっしゃいますので、社会福祉協議会の方に相談するというのも一つの手ではないかと思っております。また高齢者の相談であれば地域包括支援センターにぜひご相談いただければと思います。	健康福祉部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
適応策	健康長寿	高齢者の労働支援	高齢者の労働支援ということで、今の社会参加にもつながっていくことかもしれませんが、市の支援としてましては、シルバー人材センターへの支援というものも行っています。シルバー人材センターの場合には収入という面も、もちろんありますけれども、特にこれまで培ってきました知識や経験など、そういうものをぜひ生かしていただきたいということで、いろんな活躍をされている人がいらっしゃると思います。市役所としても、宿日直であったり、市役所の夜間の管理だったり、それから先ほど小菊荘の話も出しましたが、コロナワクチンの接種にもシルバー人材センターの方に大変ご協力をいただきました。市としてもなるべくシルバー人材センターの運営が健全にできるように、就労先の確保にも努めているところで、シルバー人材センターとしても、会員がなかなか増えていかない状況もあるということです。ぜひ口コミなどでいろいろ広がっていけばと思っています。また、菊川市は県の平均に比べて農業に従事している方が多いと言われています。先ほど市長のお話もありましたが、気候がいいので、年中外で畑仕事する方がこの地域でも多いと思いますので、健康のため、生き甲斐のためにそうして仕事をしていただくというのは大変いいことだと思います。まずは健康に過ごしていただくことが大事ですが、「食事・運動・社会参加」、ぜひこれを心掛けていただければと思います。	健康福祉部
適応策	健康長寿	高齢化社会への対応をもっと進めてもらいたい、自宅にて介護しても施設に入れても金銭的な負担が大きい	在宅介護や施設入所、確かにお金がかかります。一番お金がかからないのが、健康で元気に過ごす、いわゆるピンピンコロリというような状況になるのが一番理想だと思います。今後しばらく高齢化も進みますし、あとは介護サービスも使っていただくのは全然構わないと思いますが、今は介護人材不足というものも課題ですので、実際介護サービスを使おうと思うとスタッフの方も少なくなって、これから介護事業所も減ってしまうような恐れも出てくるかもしれません。やはり個人の健康というものは1人ひとり意識をしていただきたいと思いますので、先ほど今キーワードとして「食事・運動・社会参加」が出ていますが、比較的菊川市の皆さんは平均余命も長くて生活習慣病による死亡も少ないという状況が出ています。市では出張健康相談という事業もやっております。気軽に健康チェックができる事業もやっておりますので、ぜひ活用していただきたいです。また介護予防のために行っている教室やサロン、利用できるサービスもあります。それから認知症になっても安心して生活できる環境をつくるということで認知症サポーター養成講座も実施しているところで、「菊川すこやかプラン」や「介護保険事業計画」を立てながら、新たな事業や継続した事業を進めておりますので、お達者年齢がさらに延伸できるように取り組んでまいりたいと思います。	健康福祉部
適応策	公共交通	人生100年時代で1人でコミュニティバスに乗れない高齢者のために介護タクシーを市で運営してほしい	コミュニティバスをなかなか利用できない人が中にはいらっしゃると思いますが、市で介護タクシーを運営することは計画しておりません。社会福祉協議会で福祉有償車両事業をやっております。介護の問題などがあるとは思いますが、そういったものを利用していただきたいと考えています。	総務部
適応策	人口減少対策	若年層の転出超過に対し郷土愛を育むことが必要では	菊川市の人口を守る、あるいは拡充において、若者に選ばれるまちづくりが重要だと思います。菊川から若者が転出する、大学などをきっかけに、市外へ出てしまう。そういった方が、全国で活躍しているということも喜ばしいですが、少しでも菊川に帰ってきてもらいたいと考えています。それにはまず「郷土のことをよく知ってもらう」ということが必要ではないかと思います。現在、菊川市では常葉菊川高校や小笠高校と連携して、「高校生ふるさとセミナー」という事業を実施しています。生徒自らが地域の課題を探してもらい、その解決策を考えることで郷土を良く知り、考えてもらうという機会をつくっています。毎年1月末には年間を通じて研究してきた成果の発表会を開催しています。こうした事業を毎年続けることで、少しでも菊川のことを理解してもらい、将来帰ってきてくれる若者が増えればと考えています。また、中学生に対しても、将来的に菊川に帰ってくる際に、菊川市で働く場所をイメージでしてもらうため、「菊川ふるさと未来塾」という事業を実施しています。いろいろな業種の市内の会社の方に講師になってもらい、菊川市にこんな働き場所があるんだということを中学生に知ってもらう機会をつくっています。また最近は小学校からもまちづくりの学習をしたいという声をいただいております。出前行政講座に出向いて話をさせてもらっています。小学生の時から菊川市に興味を持ってもらえれば、将来、菊川市のことを思い出して住んでくれることを期待しています。こういったことが定住人口や、関係人口につながっていくのではないかと考えます。すぐに結果が出るわけではないので、引き続きこうした事業を継続していきたいと考えています。	企画財政部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
適応策	多文化共生	外国人と自治会との関わり方について教育等について支援等しているのか。自治会内に外国人が居住してきて、自治会等に挨拶等がないという対応が適切か、相談窓口はあるのか フィリピン人やブラジル人だけではない。他の国の方もいるのでその対応もしっかりやっているのか	外国人の状況ですが、4,000人強の外国人の方が菊川市に暮らしていて、そのうちの半分以上がブラジルの方、それから4分の1がフィリピンの方という状況です。外国人の教育等への支援ですが、大人の方に関しては日本語教室等を開催しております。こども向けには、公立の学校に入る前、言葉が最初のコミュニケーションが第一になりますので、「虹のかけ橋教室」という初期支援教室を掛川市と御前崎市、菊川市と3市で運営しております。学校に行ってもスムーズに勉強等ができるようお手伝いをしているところです。 転居して挨拶がなかったという話ですが、相談窓口としてまず外国人の相談窓口は、地域支援課に外国人の方の相談窓口ということで相談員が4名おります。その他けやきにもポルトガル語が喋れる方、小笠支所の方にも配置しております。自治会の関係も地域支援課で担当しておりますので、転居してきても挨拶がないとか、自治会加入等のご相談事があれば、地域支援課の方にお問い合わせしたいと思います。外国人の方が転居してきたときにチラシを配布しており、それにQRコードをつけてオリエンテーション動画をYouTubeで視聴することができるようにしています。ゴミの出し方や税金関係、子育てなどをご案内をさせていただいて、日本の生活に早くなじんでいただけるよう支援を行っております。	総務部
適応策	多文化共生	外国人、特にその子どもへの支援や永住してもらうための支援は？	子どもの永住に関して特別な支援は無いのが現状です。しかし、例えば子どもが市内の公立の小学校に通う前に、まずは言葉の壁がすごく大きいので、まずは日本の言葉を勉強していただくために「虹の架け橋教室」の運営等を行っています。やはり言葉をしっかり話せてやっと地域の日本人と話ができて、友達になれるということがあるかと思いますので、スムーズに学校生活に馴染んでいただけるようにまずは言葉等の支援を行っています。学校にも外国人支援員を配置しておりますので、そのような支援を市としては行っています。	総務部
適応策	多文化共生	増加する外国人住民に対する多文化共生推進	市内には4,000人強の外国人がいます。そのうちの半分以上がブラジルの人、4分の1がフィリピンの人という状況です。全体では35カ国の人が今、菊川市にいます。多文化共生、外国人支援の窓口は地域支援課が担当ですが、そこに外国人相談窓口というものを設置しておりまして、地域支援課がある市役所の東館に3名が、小笠支所の小笠市民課のに1人が常駐しています。 プラザけやきにもポルトガル語を話すことができる人がいますので、そういった方々が支援を行っているような状況でございます。 また、日本の学校に就学したい子供に対して、虹のかけ橋教室を開設しています。小学校に就学するのに必要な語学をまず覚えていただかないと、スムーズな学校生活を送れませんので、そういった手助けになるようにということで、教室を掛川市と御前崎市と3市で、共同で運営しています。 他にも例えば市内に転入してきた大人の外国人向けに市のオリエンテーション動画を作っていて、QRコードを読んでもらうと、そこにYouTubeで動画が再生されるんですけど、ごみの出し方や、転入転出の仕方、子育てや税金など、短い動画でわかりやすく外国人の方にも理解してもらえるような動画を配信しております。ごみ等につきましては、環境推進課でさらに詳しい動画等を配信しています。関連してごみステーションのごみの問題で各自治会苦労していると思いますが、そういったところに例えば、注意喚起の文章をポルトガル語で出したいといった場合には、地域支援課に言っていただければ翻訳するお手伝いをさせていただきますので、よろしくお願いしたいと思います。	総務部
適応策	多文化共生	多文化共生事業としての教育活動作りの取り組みは	公立の小学校等に入りたいといった場合に、事前に語学の勉強をしていただくため「虹の架け橋教室」を設置しています。また、大人向けの日本語教室等も開催しています。	総務部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
適応策	魅力発信	菊川の魅力発信の次の手があれば教えてください。	魅力発信はやってもやっても届かない場合があるものですから、数多く、いろんな方面からやるのが大事なのかなと思います。 ちょうど今20周年ということで、動画コンテストをやらせてもらっています。魅力のあふれる動画を作っているところです。だからあまり予算をかけずに、賞金はちょっと出るのかなって思ってますけども、それを今後YouTubeであったりとか、TikTokであったりとかそういったところで流していけば一つの魅力の発信になるのかなと思っています。 いろんなことで何が化けるかわからないのですが、ぜひお知恵があったら逆に教えてもらって、それをできるかできないか、どうしたらできるかっていう方向で考えていきたいなと思っています。 これから動画で少し何かやれないかということを職員の方にはいろんな形で言っていますので、動画で少し何かはねれば面白いかなと思っています。	総務部
適応策	若者参画	若者が活躍できるまち作りの具体例を知りたい	若者が参加できる活躍できるまち作りの具体例ということで、まちづくりには「物を作る」ということがあります、「イベントをやって賑わいを作る」こともあると思います。プラザきくるの横にある「きくる広場」で常葉菊川の生徒が「みんなのアソビバ」というイベントをやっています。同時にプラザきくるの建物の方で、小笠高校の生徒が「小さな収穫祭」をやっています。これも一つのまち作りの事例になるのかなと思います。これ以外にも、高校生とコミュニティ協議会がコラボして、小学生の夏休みの宿題を皆でやろうという企画をやっていたり、そのような事例もございます。 先ほど企画財政部長の方から「高校生ふるさとセミナー」の紹介がありましたが、それ以外にも「高校生まちづくりスクール」というのがありまして、同じように地域課題であるとか、まちの賑わいであるとか、そういったものをいろいろ研究しているグループもあります。さらに高校生が卒業して、例えば大学に行っても今度は「まちづくり部」というのがありまして、その中でもいろんな賑わいの提案をしていただいたりしています。	総務部
適応策	若者参画	常葉大菊川や小笠高校の生徒と連携していることがあるか	常葉菊川高校や小笠高校との連携ですが、高校生まちづくりスクールというものをやっております、その高校の中でチームを組んでいただいて、市の諸課題であるとか、そういったものに「こういうふうにしたらいいよ」という提案をしていただいたりだとか、町部地区センターで小笠高校の生徒達に「小さな収穫祭」っていうのを年5回やっていただいております。あと同じように常葉菊川の生徒さんには、東側のきくる広場の方で「みんなの遊び場」というなことでやっていただいております。様々なそういった面も見まして、高校生との連携を図りながらやっているところがございます。 また、一昨年、小笠高校の生徒さんに市の特産品の芽キャベツを使ってもっといろいろアピールできないかという中で、いろんなメニューを小笠高校の生徒さんに考えていただいて、そのメニューを市内の居酒屋さんで提供して、みんなに召し上がっていただくというような取り組みを実施をさせていただいております。 今年度につきましては、年明けに市長市議選があるんですが、それに向けて常葉菊川さんの生徒さんには投票の証明書のデザインを今お願いしているところです。味気ない普通の印刷だけされた投票証明書よりもデザインされたものの方が少しは目を惹くんじゃないかっていうところを考えまして、そういったこともやっております。 それから、投票啓発用の「のぼり旗」の標語を小笠高校の生徒さんに書いていただいて、それをデザイン化してのぼりを作るというような取り組みも現在しているところがございます。	総務部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
適応策	空き家対策	定住について空き家事業は市として考えていますか。移住希望者の問い合わせ件数と移住された件数実績を教えてください	空き家利用につきましては、市として空き家バンクという制度を設けております。空き家で困ってる方、もしくは貸してもいいという方がいらっしゃいましたら空き家バンクに登録をして、市のホームページや全国的なホームページに情報を掲載をして、移住定住で菊川市に住みたいという方とマッチングするシステムです。現時点は登録物件はありませんが都市計画課と連携して、今年市内全体を対象とした空き家の調査を行い、空き家の所有者の方に空き家バンクのメリットやなどをPRをさせていただいている状態です。今後、空き家バンクの活用を進めていきたいと思っています。移住希望者の問い合わせ件数、移住された件数につきまして、正確な数は今数字を持ち合わせておりませんが、移住希望の問い合わせとして、通常私どもの部署にいただく電話、また東京で行われる移住相談会でのブース対応を合わせ、年間通して数十件という数お問い合わせをいただいております。その結果として、移住された件数なのですが、例えば首都圏から菊川市の方に移住された場合に補助金を出すというような国の制度を利用したものがあります。また、こちらに來られて家を建てたりした場合に補助金を出した実績などで把握をしている中では、年間10件まではいかないで数件という件数というところですよ。菊川市には大きなポテンシャルがありますので、そういったところをPRをして、全国から人を呼んでいきたいと思っています。	総務部
適応策	観光交流	令和5年の観光交流客数が33万96人とのことだが、観光交流客数の定義は	令和5年度の菊川市観光交流客数は、33万96人とスライドに表が出ておりますが、こちらについては宿泊を伴う人、交流として日帰りである人が合わせて33万人というような形になっています。合併当時は28万6,000人程度、その後コロナの時は19万6,000人程度で減少していますが、概ね30万人台に戻ってきているところですよ。イベントなどの事業を積み重ね増やしていきたいなと思っております。	建設経済部
適応策	観光交流	キャンプ場の指定管理者制度とは。また、キャンプ場で薪は売っていますか	指定管理者制度とは、簡単に言うと民間の力を借りて運営してもらう制度ですよ。火剣山キャンプ場の指定管理者制度は今まで火剣山キャンプ場は、地元の方々の力を借りて市が運営していました。どうしても管理面が先行していたものですよから、利用者目線に立った管理運営ができてなかった、というところがありました。民間の方の力を借りてその方に運営してもらう、民間の方のアイデアを借りて運営してもらう制度となります。結果、利用者が約2.5倍になりました。また、ノウハウを活用したキャンプ場として、今まで電話でしか予約ができなかったものを、予約サイトができたり、Wi-Fi環境を整備したり、個人のキャンプができるようなフリーサイトを設けたり、SNSでイベント等もやってまして、非常に皆さんに注目していただいているキャンプ場になります。薪については、キャンプ場で販売をしております。	建設経済部
安全・安心	街灯の整備	加茂地区から下内田交差点まで（月岡～耳川地内）街路灯がなく夜間の自転車や歩行者の通行が危険	道路の交差点や横断歩道がある場所は管理者である建設課が道路照明灯として設置しております。防犯的な照明は地域支援課で防犯灯として設置しておりますので自治会経由で要望して頂ければ現地確認を行い設置の有無を判断しておりますのでご要望頂ければと思います。	総務部・建設経済部
安全・安心	障がい者福祉	障害者が住みたいまちへの取り組みについて、地震災害発生後、耳の聞こえの悪い人に情報をどのようにするか説明が欲しかった	昨年度、掛川市、菊川市、御前崎市の東遠3市で障がい者の皆さんに関する計画を作りました。基本理念として「人格と個性を尊重し合い、共生する地域社会」を掲げこの計画を進めていきますが、計画を作るにあたりまして、障がい者の皆さんにアンケートをとらせていただきました。アンケートの中でいろいろ見えてきたのがやはり障がいに対する理解が、まだまだ足りないということです。それは生活するにあたって、働くにあたってやはりお互いの理解が必要ですよので、理解を深めていくというのは一つ必要な施策かと思ひます。そのほか気軽に相談できる体制や、必要なサービスが利用できるということも必要だという意見がございましたので、行政としてもできることは積極的に進めていきたいと思ひます。災害の関係ですが、特に耳の聞こえない方への情報が届きにくいということだと思ひます。今登録されてるかわかりませんが、茶こちゃんメールであったり、市のLINE、そちらの方でも災害に関する情報があれば流していますので、ぜひそちらの登録をお願いしたいですし、あとは聴覚障害のある方など、利用している方がどのくらいいるかわかりませんが「ネット119」という緊急連絡体制の取れるものもあります。また110番の関係でアプリシステムというものも使えるということですよので、またぜひ使えるものはご活用いただければと思ひます。地域との繋がり、どこにどんな人が住んでいて、何かあったときにすぐ助けに來てもらう、声をかけられ相談できる、そうした地域が実現できればと思ひます。	健康福祉部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
安全・安心	治水対策	岳洋中学校の貯留施設工事について詳しく聞きたい	菊川市防災対策強靱化事業として、岳洋中学校の校庭貯留と黒沢川に関連する棚草川の貯留施設も含めて整備を進める予定です。現在実施しているのが岳洋中学校の校庭貯留で、既に校庭の約半分、西側の部分まで工事が進んでいます。具体的には校庭の周辺に30センチぐらいの堰堤を作り、その中に薄く広く水を貯めるという工事です。整備面積としては、1万2,215㎡の校庭の中に2,500t程度の水を溜める計画です。雨が降るとそこに水が一時的に溜まり、その後少しずつ黒沢川の方に出していくということになりますので、基本的に校庭の調整池のような形となります。今年度中には整備が完了する予定です。それ以降につきましては棚草川の貯留施設整備などの整備を進めていきたいと考えています。	建設経済部
安全・安心	治水対策	川の治水について、江川は県道37号より西側について対策は何か検討されているか。2年に1回くらい川の水があふれて非常に困っている。堤防の高さを上げる等対策をしてほしい。	江川流域については、南ニュータウンが数年に一度浸水し道路冠水があるということで、江川の排水機場のポンプ稼働で対応しております。河道掘削が一番大きな対策ですので、これは国の責任において菊川本川と牛淵川の河道掘削をしっかりと進めていただくようお願いしています。また、流域でいきますと今雨水を一時的に溜める「田んぼダム」を中遠農林事務所の方が主体としてやっており、菊川市では、川西地区のご協力をいただき取り組みを進めています。川西地区で約27.2haの水田を利用して6万8,000tほど水を溜めるように整備しています。まだ取り組みの始めということで現在は1.28haの中に3,200tぐらい雨水を溜めるような形です。管理につきましては地区の方がご協力いただき、田んぼにコンクリートの柵がありますが、そこに堰板がかかって水を出すときには全部取って出すようになっていますがその堰板を加工して、少しずつ排水するようになります。菊川市の水はほとんど、河川菊川に流れますが、掛川の水も入ってきますので。掛川の方でも田んぼダムを進めていただいております、流域全体で治水対策を引き続き進めていきたいと考えております。	建設経済部
安全・安心	治水対策	黒沢川流域の治水対策具体的な工事箇所、効果予測、時期は	黒沢川治水対策につきましては、令和5年度から実施設計を始め、今、岳洋中学校校庭を利用した校庭貯留に取り組んでおります。岳洋中の校庭1万2,215㎡を、薄く広く掘らせていただいて、少し水を溜めるスペースを作ります。周囲に小堤みたいなものをつくることによって、2,500t程度の水をためることができる試算です。大雨が降ったときに一時的に貯留をして時間をかけて排水をするという工事を今実施しております。今グラウンドの西側から工事をしており、今後東側に移り、令和7年3月までには完成する予定で進めております。また棚草川の流域治水についてですが、掛川浜岡線バイパスの、セブンイレブンさんと杏林堂の南側斜めのところに整備面積としては3万4,695㎡程度のエリアに3万8,000tぐらいを貯留する整備として今年実施設計を進めているところでです。実施設計が完了してから令和7年度から用地買収に入っていきたいと思っております。こちらにつきましては、棚草の方が多く土地を持っているということで、農業調整等も実施しながら調整池を作っていくものです。構造的には一番深いところに多く水を溜めたいということがありますが、少し多目的に利用できるエリアも整備する考えでおります。令和8年度には工事着手したいと考えております。 効果的なものですが、流域治水の目的としては、黒沢川流域で過去に床上浸水があり、床上浸水が一番被害が大きく、建物に影響したり、生活に影響したりしますので、床上浸水を無くそうという目標の中でやっていきます。このエリアではないですが、川西地区で田んぼダムの取り組みを進めており、流域全体で菊川本川の水位を下げることによって、支川からの排水をよくしていきたいと考えて進めております。	建設経済部
安全・安心	治水対策	菊川水系流域治水プロジェクトにおいて上小笠川の扱いはどうなるのか	上小笠川につきましては県管理になりますので、県に適正な管理をお願いしている状況でございます。令和6年度につきましては上小笠川の河道掘削が、山本橋から120m上流を施工する発注がされ、浚渫作業は県でやっていただけるようになっております。 黒沢川などでは、60万㎡の菊川本川の掘削をすることによって、本川を流れる量が増え、支川から流れる部分も順調に流れてくるようになります。本川の流れを良くすることを最初に進めていきたいと思っております。県でも浚渫工事を行っていただき、黒沢川流域では岳洋中学校の校庭貯留を令和7年3月までに完成させたいということで考えています。	建設経済部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
安全・安心	治水対策	西方川の治水対策は。土砂の堆積が増加している	西方川は県管理河川で、その下流を国土交通省が管理しています。加茂地内の西方川では、護岸工事を行っており、また管理面で浚渫したり等、必要に応じて実施しています。 菊川の水の流れが悪いのは、どちらかという下流に流れきらず内水被害になっていることで、流末の菊川本川、旧大東町地内から菊川の嶺田地内を通して、上流に繋がるわけですが、その河道掘削をしっかりと行っていただき流れを良くしなければいけないと考えています。 現在、平成28年度から今後30年間で60万㎡を目標に、今河道掘削を実施しているところです。平成28年度から令和5年度まで、8年間の実績では、約30万㎡ほど、掘削が終わっています。菊川本川については1.3mほどの水位低減効果がありました。また、西方川に流れる水については、菊川西中からの水が出たりと意見をいただいておりますが、菊川西中は昔からグラウンドがあって、雨が降れば水が直接出てしまいます。菊川市で初となる黒沢川の岳洋中の校庭貯留施設を整備しており、令和7年3月に工事が終わりますので、それを実証させていただく中で、菊川西中を含む他での校庭貯留が可能なのか確認していきたいと考えています。また、西方川の浚渫等の話もでておりましたが、こちらは我々の方で確認させていただき、県の方に繋げていきたいと思ひます。	建設経済部
安全・安心	治水対策	棚草川隣接貯留施設について、地元周辺に周知されていないのでは、いつごろなのか	棚草川の隣接貯留池ということで約3万6,000㎡ほどの面積を利用させていただき3万8,000 t ぐらいの水を貯めるように、現在測量設計を進めております。測量設計ができ次第、地元の皆様に説明へ伺いたい、説明会を開催したいと考えております。	建設経済部
安全・安心	治水対策	丹野川河川管理について、市と県の管理の分担はどのようなになっているのか。今年8月の台風10号のとき水門付近が土砂で埋まり、業者に対応していただくまで1カ月以上かかり苦労したので説明をお願いしたい	丹野川の管理は直轄ということで、赤土の新池のあたりが国土交通省の直轄管理の境になり、その上流については静岡県管理ということになります。対応に1カ月以上かかったということで大変申し訳ございませんでした。土砂の堆積があった場合、河川管理者に土砂撤去をしていただくというような形になりますので、市にお知らせしていただければ国・県の方に繋げていきたいと考えております。	建設経済部
安全・安心	治水対策	黒沢川の治水、特定都市河川に指定。また棚草川貯留施設の整備はどのようなものか自然との共存は	特定都市河川については、国の管理する国交省の直轄河川と県の管理する黒沢川が部分的に分かれている状況です。それぞれ河川管理者の方が特定都市河川の指定をしていただくような形で、県は12月議会の方で条例を出していただいたと聞いており、指定に向けて順調に進んでおります。国の方の手続きも今年度中には、特定都市河川に指定をしていただくということで考えております。現在、棚草川の流域治水について設計を進めている段階ですので、令和6年度中に設計を完成して地元説明、用地買収に入っていきたいと考えています。 整備面積については3万4,000㎡程度で、そこに3万8000tぐらい水を貯める形になります。調整池や遊水池は深く掘ってそのままというものもありますが、ここについては決定しておりませんが、しっかり水を溜める深い調整池の部分と雨が降ったときには水に浸かってしまうけど、雨が止んで水が引けば多目的に使える部分、それと水が溜まらなくて管理をする部分ということで3段階の段々形の調整池・遊水池を作っていきたいと考えています。それに付随する形で今年度、岳洋中学校の校庭貯留を整備しております。既に約半分、西側については大体の形ができております。校庭の面積が1万2,215㎡ほどで貯留容量として約2,500tを目指して今工事を進めております。こちらについては令和7年3月末までに整備するよう工事の方を進めていきます。	建設経済部
安全・安心	治水対策	治水プロジェクト今後の計画について	令和元年のときに大きな台風が来まして、市内にも大きな被害が発生しました。今まで治水対策を河川管理者に対してお願いをしており、菊川でいくと直轄河川になりますので、国土交通省、その上流につきましては県の管理河川担当の方をお願いをして、掘削や河道を広げたりといったかお願いをしてきました。ですが、それだけでは限界がありますの、総合的に治水対策を進めるため、流域治水プロジェクトを行っております。	建設経済部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
安全・安心	道路整備	吉田大東線について、河城小より東に300mくらいの拡幅工事を早急に進めていただきたい。通学路のために通勤時間には車が多く事故が心配です	河城小から東へ行った吉田大東線の拡幅について、一部工事着手や用地買収が済んでいますが、進捗が図られるよう、引き続き県に対し要望等はしていきたいと思っております。今回8月末から9月にかけての大雨で、河城地区では389mmの連続雨量また、8月31日には72mmの降雨があり一部崩落した個所があります。現在、応急復旧対策についても県に検討をしていただいておりますので、またそちらも進めていきたいと思えます。我々としては、積極的な予算要求ということで県に働きかけていきたいと思っております。	建設経済部
安全・安心	道路整備	市道井橋堂線の早期完成について、3年ほど前中央公民館で説明会があり、完成までに10年から13年くらい必要との回答。現在部分的に拡張工事が実施されているが、土地の買収、予算付のこともあると思うが、早期完成を願います	都市計画道路青葉通り嶺田線（市道井橋堂線）は、嶺田地内のポエム新月から下平川地内の遠州夢咲農協本店までの東西を結ぶ960mで、西の部分390mを道路局事業、東の部分570mを街路事業として、道路幅員16mの計画で整備を実施しており、現在、測量設計が完了し、用地買収に入っています。整備区間に位置する牛淵川に架かる小松洗橋が、狭隘で危険な状況となっており、通学路の安全対策が課題となっていました。橋梁工事は、非出水期での施工とするなど安全面に配慮した施工としており、仮堤防設置や仮設橋を架ける計画としているため、完成は令和12年度頃を予定しています。取り合いの道路工事を令和15年度頃までに完了し、開通を目指しています。整備には、多額の事業費と長期の事業期間を要するものですが、国への要望活動を通じた予算確保など、積極的に整備を進めていきたいと考えております。	建設経済部
安全・安心	浜岡原発	今後、大地震を繰り返す余震が予想される。浜岡原発の放射能が漏れたら規定外では生活ができない。どう考えているのか	市では広域避難計画というのを策定しております。浜岡原子力発電所で原子力災害が発生した場合に、例えば放射性物質の放出が恐れがあるといった場合には、市民の方には屋内退避という形で指示が出されます。それからそれ以上に事態が進展して、放射性物質が外に放出された場合には、市内を8つに分けまして、地区ごとに放射線量を測定する中で、測定値の基準に該当した地区から避難をしていただくような形で進んでいます。その場合、単独災害というんですが、浜岡原子力発電所のみの事故の場合には、西の方面へ避難していただきます。浜松市、湖西市、愛知県の豊橋市、田原市へという避難になります。 また、地震と浜岡原子力発電所の事故が両方発生した複合災害の場合には、南海トラフ地震も該当するんですが、そういう場合には近隣市も被害を受けておりますので、富山県の方へ避難するような形になっています。これにつきましてはやはり距離もありますし、いろんな課題があります。冬の時期に本当に避難できるかとか、体の不自由な方がそこまでいけるかなど課題がありますので、静岡県や国と調整しながら、広域避難計画で市民の皆様が何らかの放射線防護対策をとることができ、安全に避難ができるという形で今ある計画の実効性を高め、一つずつ課題を解決して、安全な避難ができるようなことを進めております。	危機管理部
安全・安心	浜岡原発	浜岡原発の事故が地震と重なった際の避難地が富山県氷見市というのは現実的ではなく、机上のものだけではないですか	市では広域避難計画というものを策定しております。浜岡原子力発電所で原子力災害が発生した場合に、その災害の進展の状況によりますが、例えば放射性物質の放出が恐れがあるといった場合には、市民の方には屋内退避という形で指示が出されます。それからそれ以上に事態が進展して、例えば放射性物質が外に放出された場合には、市内を8つに分けまして、地区ごとに放射線量を測定する中で、測定値の基準に該当した地区から避難をしていただくような形で進んでいきます。その場合、単独災害といいますが、浜岡原子力発電所のみの事故の場合には、菊川市の場合、西の方面へ避難していただきます。浜松市、湖西市、愛知県の豊橋市、同じく愛知県の田原市へ避難となります。 それから先ほどご質問にもありましたが、地震と浜岡原子力発電所の事故が複合災害っていうか両方発生した場合には、南海トラフ地震も該当するんですが、そういう場合には近隣市も被害を受けておりますので、富山県の方へ避難するような形になっています。これにつきましてはやはり距離もありますし、いろんな課題があります。冬の時期に本当に避難できるかとか、逆に体の不自由な方がそこまでいけるかっていろんな課題がありますので、現在その課題に向かってですね、静岡県や国と調整しながら、市としましては先ほど言いました広域避難計画で、市民の皆様が何らかの放射線防護対策をとることができ、安全に避難ができるという形で今ある計画の実効性を高めるという表現をするんですが、一つずつ問題を解決して、安全な避難ができるようなことを進めております。	危機管理部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
安全・安心	防災対策	市役所の駐車場1台分の区画が狭くて不安です。ぜひ広めて安心して停められるよう改善してください	駐車場については、西側の旧町部地区センターを解体して、新たに駐車場として30台超を確保しました。また、工事中しか使えませんが、旧北館、昔の青少年ホームだったところを解体して、同じく30台ぐらい。合わせて60台ぐらいの区画について1台分が少し大きめの駐車場を確保させていただいています。 今回堀之内体育館も建て直しを新たに立て直して、災害対策本部棟も一体整備しますので、駐車場のスペースについても最終的な段階になりましたら、今駐車場となっている部分についても、スペースや駐車場の配置を見直していく必要があると考えております。現在のところは周りの工事が終わってきたらそのときに駐車場の配置見直しを検討しております。現状のスペースが狭いことは承知しておりますが、できるだけ台数も確保しなくてはなりませんので、そういったことを考えながら進めていきますので、よろしくお願いします。	危機管理部
安全・安心	防災対策	市役所敷地一帯の防災機能の強化	今の市役所の敷地の一帯で強靱化事業ということで、いろんな建物を解体したり、新しくつくることをやっております。強靱化とは災害に備えるということですが、北館を潰したところに新たに災害対策本部棟、これは本庁舎から独立しまして、災害のいろんな対策をそこで全てやるような形で今耐震化を含めた工事をやっております。ここは自家発電、それから水等確保しまして、最終的にいろんな災害に備えるという災害対策本部を設置します。それと堀之内体育館につきましても来年度以降に解体をします。そこに新たに災害対策本部棟と体育館を一体化して建設をします。万が一、大規模災害が発生した場合に、関係機関、自衛隊であるとか警察、その他ライフライン電気ガス水道の方たちと連携を図ります。能登地震や熱海の土砂災害の時もそうでしたが、関係機関の連携が重要なので、そこに詰めていただく計画です。こちらについても、太陽光発電を上につけたり非常用電源も確保したりして、災害対策本部棟と体育館を一体化した災害拠点という形で今設計等をして、順次解体整備を進めていきます。また、市役所のレンガ調の壁があるんですが、これも地震の際とかに剥離してはいけないということで現在、全部剥がしまして、新たにパネルを張って、本庁舎についても災害に備えるという形で今工事をやらしていただいています。入口が一方通行で入ったら北側から出るという形で変則的にやらせていただいています。これが1年ほど、来年の12月ぐらいまで工事を予定してまので、ご協力をよろしくお願いします。	危機管理部
安全・安心	防災対策	被災したとき、救援物資は、場合によっては2週間から3週間かかることもある中で、菊川市として救援物資がスピーディーに届くよう工夫をしているか	最初に市の備蓄の状況を説明させていただきます。県が4次想定ということで公表しています。そのレベルに合わせて菊川市では備蓄計画を作成しています。食料関係では、避難者として1日1万4894人が想定されていて、住宅の耐震化等が進んでおりますので、そういう面を考慮して、1万3375人分の3日分の食料を確保しています。毛布や簡易トイレ、生理用品等の生活必需品につきましては、発災1週間後を想定しています。1週間後の想定人数は避難者が1万6,814人に対して同じく3日分を市で備蓄しています。令和6年1月1日の能登半島地震でもそうでしたが、援物資がなかなか届かないということが課題となっております。菊川市では昨年度、陸上自衛隊から災害時の経験豊富な方を招きまして、救援物資をどう受け取るか、物だけではなく、例えば他県の職員の応援を受けるなど、そういったものも含めた中で、「受援計画」のマニュアル等を作っています。災害時にできるだけ早く動けることが市民の皆さんの生活を元に戻すのを早くすると考え今取り組みをやっていますので、今後訓練をやりながら見直しをかけていきます。 12月1日には地域防災訓練があります。その際に物資の受け渡し訓練ということで自主防災会や地区防災の方のご協力いただき、アルファ化米の運搬・配布の訓練をやらせていただきます。そういう形でも、物資が皆さんに早く確実に届くように続けていきますので、ご協力をよろしくお願いします。	危機管理部
安全・安心	防災対策	防災機能拠点整備は非常にありがたいことだと思いますが、中電の補助金は何億と入っていると聞いた。浜岡原発の再稼働の判断に影響がないか心配をしています	小笠地区に作っている貯留施設があるんですが、中部電力さんから申し出がありまして、その施設を中部電力で事故が発生した場合に、集場所や資機材を置くところとして、災害時に限って貸していただけないっていうお話がありましたので、内部で調整し、議会の方でもご説明させていただきました。やはり中部電力さんが使用するっていうことであればそれなりの負担をしていただきたいということで、中部電力さんから20億円をいただくような形になります。ご心配あったかもしれませんが、これはあくまでも再稼働とは関係ありません。使わせてほしいという話があったもんですからそうするとそれなりの負担を中部電力さんをお願いするという形に進めております。	危機管理部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
安全・安心	防災対策	防災無線は地区単位で放送可能とのこと 地区の要請により当日の地区のイベントなどの放送ができればと要望します	同報無線につきましては、屋外用、外に電柱を建てたりスピーカーがついてるものと屋内住宅の中で聞けるラジオ的なもので聞いていただく二つのものがあります。放送の内容につきましては、防災に関わる、例えば緊急性の高い命にかかわるものの放送ということでやらせていただきます。 例えばですが、大雨が降ったときなどの避難所の開設や避難指示、それから国から直接流すようになっている「Jアラート」もありますので、基本的には防災に関わるものを市民にも知らせる目的でやらせていただきます。 場合によっては大規模な菊川市の中で断水、水道が出なかったりとか、そういう緊急な場合には使わせていただいたような形でいます。 大変申し訳ございませんが、同報無線につきましては、先ほど申し上げた通り命に関わる部分で放送させていただきたいものですから、ご質問にありました地区のイベント等の放送というのは今のところはできませんので、ご理解をよろしくお願いいたします。	危機管理部
安全・安心	防災対策	8月に初めて南海トラフ臨時情報が発表されました。それを受け、市の対応等の見直しはありましたか。具体的に取り組まれたことがあれば教えてください	南海トラフ臨時情報が発表された際、市は災害警戒本部を設置しました。危機管理部と応援職員が24時間体制で1週間詰める体制で国や県からの情報収集、気象庁の発表について確認等にあたりました。 あわせて同報無線、市ホームページ、茶こちゃんメール、dボタンなどを使いまして、市民の皆さんに家具固定や、備蓄品をもう一度確認してほしいというような啓発に関する情報発信をしてまいりました。 今後は、南海トラフ地震注意情報が発表される際には、備蓄品や避難所の確認などをするとともに日頃から地震があったときの備えをもう一度見直してもらうように啓発活動を行ってまいりたいと考えています。 mた、今回初めて発表されたということを鑑み、この情報の仕組み等についても市民の皆さんには改めてホームページ等で周知を図っていきたいと考えております。	危機管理部
安全・安心	防災対策	市の外壁改修工事が終わったら駐車場へ行く通路は一方通行のままですか。また入口が出口になりますか。通路幅が狭いので検討ありますか	来年の5月までは一方通行で現在の流れでやらせていただきます。その後、工事の場所が変わり、入口は以前のように戻して信号のところから出入りしていただく。駐車場については、旧の町部地区センター跡地を整備し30台分位確保しています。庁舎北館があった部分も約30台分合わせて60台分は確保しています。今後、壁の工事が終わりますと、体育館と災害対策棟が一体化した施設を作りますので、場合によっては規制がかかる場合もあります。ご不便おかけしますがご協力をよろしくお願いいたします。	危機管理部
持続可能	環境	エコアクションの進捗状況	エコアクション21という、環境への取り組みを効率的、効果的に行うシステムがあります。環境への関心を持っていただき、良い行動し、結果を取りまとめて評価し公表する。そういった方法として環境省が策定したガイドラインに基づく認証登録制度というものになります。 菊川市では、平成23年の7月から二酸化炭素などの排出削減の取り組みを効果的・効率的に進めるためにエコアクション21の登録制度の方法を取り入れて、現在も活動をしています。市で直接管理する施設では全て認証済みとなっています。またこの取り組み結果は、環境経営レポートとしてまとめて公表しております。最近のものでは令和6年度作成版として、昨年の4月1日から本年の3月31日までの活動結果についてレポートを公表し、ホームページに掲載しています。 CO2の削減等にこれからしっかりと取り組まなくてはいけないことから、この登録制度・認証制度に基づきながら着実に進めております。	生活環境部
持続可能	環境	資源プラスチックの回収について、現在は包装のプラに限られていると思いますが、プラの表示があるもの全てを回収することはできないのでしょうか	プラスチック製容器包装については、分別収集とリサイクルということで皆さんのご協力をいただきながらやっております。ご質問の容器包装以外のプラスチック製品については、現状燃えるゴミとして収集処分をされているのが現状です。令和4年4月にプラスチック資源循環促進法という法律が施行され、容器包装以外の製品プラスチックの廃棄について、リサイクルを促進するという仕組みがつくられました。この法律では、市町の収集というのは努力義務になっておりますが本市としては目標として再来年、令和8年度4月からの運用に向けて、回収場所や品目について検討を進めています。回収場所については拠点回収として、いわゆる地区を細かくではなくて、赤土のリサイクルステーション、環境保全センターで検討をしています。回収品目の中で先ほど表示というお話がありましたが、100%プラスチックでできている製品を対象としますので、例えばプラスチックでない材質、金属・ゴムが混ざっているものについては、大変申し訳ありませんが回収できないという流れになろうかと思います。いずれにしましてもこの分別回収を進めていく際には、市民の皆様の更なるご理解ご協力をいただくこととなりますので、しっかりと周知をしながら進めてまいりたいと思います。	生活環境部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
持続可能	環境	環境資源ギャラリーの今後の運営費について	まず初めに環境資源ギャラリーの今後の運営費について、ギャラリーの令和7年度以降のゴミ処理につきましては、新しい施設を建てようということで進めています。新しい施設は令和12年度の4月稼働予定です。したがって令和7～11年と5年間、現施設を使うか、あるいは外部搬出という方法を決定をしておりますけれども、どちらの方法でいくかという検討をした結果として、外部搬出になっております。この理由につきましては、まず経済的に今の施設を維持補修しながら、不安定な状態で稼働させるよりも、しっかりと外部搬出した方が安いという試算が出てます。これは費用で申し上げますと、令和6年から11年で現施設を延長すると約131億9000万円という数字になります。これは掛川市と菊川市の組合の合計の金額になります。非常に大きい金額です。全部外部搬出しますと120億6000万円ほど。したがって、全部外部搬出の方が11億3000万円ほど経済的には有利と言うような話がございます。 また皆様のゴミを安定的に安全に焼却するということも非常に大事ですし、安定的にこれらを進めるといいういくつかの視点から、そのような方向で今進めております。ただし皆様からゴミを出していただくことに関しては、基本的には何も変わりませんので、その後のゴミ処理の方法というものについて、7年度以降、新しい施設が完成するまでの間全部外部搬出という方針で進めております。運営費については、毎年の金額ですけど先ほどの金額を5年あるいは6年で割った金額がおよそ、1年間のギャラリーにかかる費用ということにあるかと思います。	生活環境部
持続可能	環境	菊川市を綺麗にすること、道路に落ちているゴミを進んで片付けることゴミ問題	菊川市を綺麗にすることは道路に落ちているゴミも進んで片付けることが大事だよというご指摘ご質問をいただきました。おっしゃるとおりで、家庭から出るゴミあるいは事業所から出るゴミの回収あるいはリサイクル化だけでなく、いわゆる公共施設や道路上であったり、河川敷であったり、普段皆様が歩くときに見受けられるそういったゴミも、確かにしっかり解消しなきゃいけない。それは私ども生活環境部の環境推進課のみならず、建設経済部の河川の関係であるとか道路の関係の部署としっかりと連携をしながら、ゴミを放置することなくしっかり解消していかなければいけないと考えております。	生活環境部
持続可能	環境	ごみ問題（廃プラ等への取り組み）	市では資源物回収や生ゴミの処理機の購入の補助金など様々な取り組みをしております。廃プラに関連して、令和8年4月以降に製品プラスチック、いわゆる衣装ケースや、大きなプラスチック製品の回収に向けて今準備を進めているところです。 いずれにしても、様々な資源ゴミがありますので、そういったものの回収を促進する。またプラスチックごみ、生ごみ、紙ごみを減らすといったそれぞれの取り組みを一体的に進めながら、ごみの少ないまちとして、これからも頑張っていきたいと思います。	生活環境部
持続可能	環境	カーボンゼロへの取り組み、ゴミ処理(回収から処理、資源活用など)のコストや処理について境への影響など効率効果的な政策案はありますか	市政懇談会資料の37ページに、ご質問いただいたゼロカーボンシティ脱炭素の関係が載っております。この取組について、いくつか紙面上に記載しておりますが、補助制度として掲げているのは、ごみについては、なるべくごみを出さない。出ってしまったごみはできるだけ資源として使う。どうしても使えないごみはきちんと処分する。そのような考え方です。この中でいうと、ごみの中でかなりの割合を占める生ごみをしっかりと適正な処理をしてしていただきながら、ゴミの量を減らすことについては、生ごみ処理機の補助で対応しています。話が大きくなりますが、こういったものになぜ取り組むかと言うと、今、地球温暖化で、非常に暑い夏を毎年迎えております。大気中の平均気温、海洋の平均気温が長期的に上昇する現象、これが地球温暖化ですが、何よりも災害が発生していることもそういったところに起因していると言われています。私どもとすれば、非常に大きなことにつながる一つ一つのお仕事をさせてもらっています。 先ほど生ごみの話をしましたが、ごみをこれから出さないということについて、今、包装容器のリサイクルはやっていますが、令和8年度から、製品プラスチックをどのように回収していこうか今検討しています。なるべく皆さんの負担にならないような方向ということで、各集積所で回収するというのは非常に負担が大きいものですから、拠点として今あります、赤土や環境保全センターの集積のところに場所を設けながら、製品プラスチックも回収して、しっかりと燃やさずに、資源化していくというような取組も進めてまいります。また情報をこちらから出していきたいと思いますので、ぜひご協力をよろしくお願いします。	生活環境部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
持続可能	菊川駅周辺整備	レンタサイクルの利用率まだまだ低いと思う。もっと宣伝が必要では	レンタサイクルは、菊川駅前にある産業支援センターEnGAWAに10台、小笠の小菊荘に5台ほど設置しております。利用率的にはそんな高い方ではないですが、令和5年の8月から今年の9月までに323人が利用しています。 PRを強化するために、10月1日から「自転車スタンプラリー」を始めました。参加していただいてスタンプを集めていただくと、さわやかな商品券や満点ハンバーグがもらえるものであり、こうした宣伝に努めていきたいと思っています。	建設経済部
持続可能	菊川駅周辺整備	菊川駅南北自由通路について	駅の開発につきましては、平成29年に菊川駅北構想を策定し、現在は、駅の南北自由通路を先に整備しております。令和8年3月には駅の自由通路が開通し、その後に南北駅前広場を復旧・新設していくというような順番で、令和9年度までの事業計画としております。	建設経済部
持続可能	菊川駅周辺整備	駅北から掛川バイパスに通じる道路について	菊川駅北構想を作った際、JRアンダーや駅からまっすぐ繋げていただけないかという意見がありました。今後のまちづくりの中で、駅北開発の12ヘクタールの中に幹線を1本入れていきたいと考えています。	建設経済部
持続可能	菊川駅周辺整備	駅北開発の計画について	駅北開発については、東海道本線と新幹線の間、約200haの中で構想を組み立てています。JR菊川駅南北自由通路は、令和8年3月に開通する見込みです。駅南広場は、一般乗降エリアを閉鎖し、工事を進めさせていただいておりますので、最初に復旧し、その後に駅北広場を作っていきます。駅北広場に隣接する土地に市有地もあるため、駐輪場や駐車場についてもあわせて整備をしていきたいと考えております。 中期計画として、駅舎から500m徒歩圏と言われる範囲で約12haの土地に土地区画整理組合を設立して、民間の力で事業を実施していきたいと考えています。ここは地権者が50名位いらっしゃいますが、今話し合いを進めており、基本的には道路や水路、調整池といった面的整備について話し合い整備の方向性は概ね定まってきました。あと細かい調整をしているところで、住居系、少し沿道商業施設ができればと考えております。その先の長期計画では、工業系をどこかに誘致できないかの検討はしておりますが、具体的な話はございません。	建設経済部
持続可能	菊川駅周辺整備	市の中心部より周辺部のことをどう考えているのか	街を全て同じように開発することはできませんので、中心部と繋ぐということで考えております。菊川地区では駅がある地域と東名インターチェンジがある加茂地域、小笠地区では中央公民館のある平川地域から各地区拠点と、道路整備やコミバス運行などによりネットワークで繋げるまちづくりをしていきたいと考えております。	建設経済部
持続可能	菊川駅周辺整備	南北自由通路への寄付金はまだ低いと思う。もっと宣伝が必要では	定期的に多くの方に寄附をいただいております。取り組みを継続してまいります。また、ガバメントクラウドファンディングにより市民の皆様も税控除が受けられる取り組みも追加し、更なるPRを進めてまいります。	建設経済部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
持続可能	公共交通	掛川浜岡線バイパスによる地域の活性が進んでいるが、静鉄バスの運行は未だに旧道のみです。公共交通について考えた	市ではコミュニティバスを含めた公共交通に関する「菊川市地域公共交通会議」という会議を持っており、会議では主にコミュニティバスの路線やダイヤなどの検討等を行っています。 しずてつジャストラインのバスは、県道掛川浜岡線を営業所から菊川駅の方へ走っておりますが、民間企業であることから採算面も考慮した運行となっています。それをカバーするような形で、市のコミュニティバスの路線等も考えて運行しています。地域公共交通会議の中にはしずてつジャストラインさんも参加していますので、このようなお話があったことを伝えるとともに、今後新しいバイパスに切り替えることができるのか、旧道のまま運行するのか市としても確認をしていきたいと考えております。	総務部
持続可能	産業振興	食肉センターとの取り組みによる生肉、遠州夢咲牛等のふるさと納税の進捗課題、目指す額は	ふるさと納税は、令和5年度は3,282件、総額で9,238万4,000円。1件当たりおよそ2万8,000円程度です。令和4年度は5,271件、1億1,785万8,000円ほど。1件当たりおよそ2万2,350円。全国的にふるさと納税は競争している状況ですので、一生懸命競争に競り勝たなくてはならないと考えております。 食肉センターとの取り組みでは、遠州夢咲牛に限らず県内の肉が食肉センターでと畜されるということになると、処理される全ての肉がふるさと納税の返礼品の対象になりますので、静岡県経済連にお願いし、新しい商品の開発や、市内の生肉加工業者の方をお願いして返礼品を増やしていきたいと思っています。目指す目標は、先ほど令和5年度は9,000万円と言いましたが、できれば来年度倍になればいいなということで考えています。	建設経済部
持続可能	産業振興	企業誘致の計画はありますか	具体的に誘致予定の企業はありませんが、今後、工業用地の確保に向けた開発候補地の調査や遊休地情報の収集、誘致活動を行っていく予定です。	建設経済部
持続可能	産業振興	スタートアップ支援の実績を知りたい	今年度、新たにビジネスプランテストを開催し、農業及び環境に関する課題をテーマに全国のスタートアップ企業から事業提案を募集しました。全国から44件の提案をいただき審査を進め、最終的に入賞者5組を表彰するとともに事業の定着に向けた資金として活用いただくよう賞金を授与したところです。このほか、1次審査会を通過した16組に対して、課題の確認や必要に応じて生産者等へのお取次ぎをするなど、それぞれの事業化に向けた支援を進めています。例えば、最優秀賞を受賞した事業者様と市内茶生産者を結び付け欧州市場で菊川茶を販売するためのテスト販売を始めるなど、菊川茶の海外販路獲得に向けた事業化などに挑戦中です。	建設経済部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
持続可能	産業振興	産業支援センターの事業内容等について詳しく知りたい	産業支援センターEnGAWAは市内事業者の皆さまが抱える経営課題に対する相談や解決などに取り組むとともに、市内外の人やビジネス、事業者間のマッチング機会を促進していくことで、イノベーションの創出による新たな事業展開や事業拡大などを促進し、商工だけでなく農業を含めた市内産業の持続的な発展を図っていくための施設です。 施設は、「経営相談」、「コワーキングスペース」、「カフェ」という3つの機能を有しています。 「経営相談」とは、専門の相談員とお話をする中で、事業の継続や経営の強化などの課題について、解決に向けた相談が無料でできるもので、販路拡大・WEBマーケティング・創業等の支援に長けた4人の専門の相談員が毎月定期的に来て相談に対応しています。また、市と信用金庫職員が随時相談に応じており、内容によって専門の方や金融機関、他の支援機関などにお取次ぎをしています。 「コワーキングスペース」は、市内外のビジネスマン、出張者や、スタートアップ企業の方などが、ここでお仕事をしたりや交流ができたりする場所（有料施設）です。Wi-Fi完備で、4人程度入ることができるモニター付きの会議室や1席ずつ仕切りがある集中ブースも5席あります。また、EnGAWAは法人登記が可能であり、新たに事業を始める場合、まずここを拠点として住所を設定していただくことができます。 このほか、事業者の皆様の経営課題に沿ったセミナーやイベントを開催するとともに、ビジネスマッチングを促進するためのビジネス交流会を開催しています。 「カフェ」では、スタッフと会話していただく中でビジネスの悩みが気軽に相談できる場づくりに心がけています。	建設経済部
持続可能	産業振興	将来に向けて働く場の創出について計画はあるか	働く場については、企業誘致を進めることにより創出することを考えています。 企業誘致については、工業用地の確保に向けた開発候補地の調査や遊休地情報の収集を行うとともに、菊川市の立地の強みを活かした誘致活動を行ってまいります。	建設経済部
持続可能	産業振興	大型商業施設や道の駅など人が集まり交流できる場所が必要	大型商業施設や道の駅などは魅力的であり、多くの人を集客できるものと思いますが、出店や設置については場所の確保や規制、条件など様々な要件があり、難しいのが現状です。既存の観光資源も活用しながら人を呼び込み、市の魅力を発信してまいります。	建設経済部
持続可能	産業振興	同じ菊川市内でも地域によって課題や特徴が異なるので商業発展地区や農業推進地区基幹産業地区など重点施策を作ることによって発展させていくのも良い	市内の一部には用途が定められている地区がありますので、地域の現状に合わせた発展を促してまいります。	建設経済部
持続可能	水道事業	水道水本管について	水道施設は全国的に老朽化が進行していて、本市においても同様です。施設の計画的な更新、それから施設の耐震化が最重要であり、喫緊の課題と考えております。 記憶に新しいところでは今回、能登半島地震の被害状況として、水道施設が甚大な被害を受けて断水が長期化していることが課題でありましたので、効率的に耐震化を進めていくことが必要であるというふうに考えております。本市の水道管路の耐震化率ですが、令和10年度末の目標を55.91%に設定し、各年度の目標値を持ちながら管路整備を進めています。令和4年度末では目標値54.11%に対して54.23%、令和5年度末は目標の54.77に対し54.79と目標を達成しております。令和4年度末の全国平均が42.3%、県平均は44.8%で本市はそれを大きく上回っているような状況であります。今後も目標値を達成するように管路整備は進めてまいりたいと思います。いずれにしても市民生活を守るために水道管の入れ替えそれから管路の耐震化を着実に進めていくことが大切であると考えております。	生活環境部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
持続可能	茶業振興	お茶の海外販売やGIの見通しについて	お茶の海外販売については、毎年、需要が拡大しています。国内需要については、これから日本の人口が減っていくなかで日本でお茶の需要が伸びるかという難しい面があり、海外に目を向けていかなくてはならないということになります。海外に目を向けるにあたっては、やはり品質の高いことをしっかりと証明しなくてはいけないと思います。既にGIを取得していますのでPRさせていただくとともに、JGAPやアジアGAPも推奨しています。認証を取得することで信用されますので、引き続き認証更新をしていくため、更新する方については補助金を出すような施策を実施させていただきました。さらには、これから有機で無農薬のお茶を作っていくなかで、有機認証取得を予定している方を支援していきます。また、改善を加えながら引き続き佐川急便とアリババの関係を通して海外販売をしていきたいと考えます。海外に出すにあたって当初はアメリカやヨーロッパを想定していましたが、UAEやアラブ首長国連邦からも問い合わせが来ています。最近来ているのは、オーストラリアの方から問い合わせがあるという状態でございますので、品質がしっかり証明できれば海外でもチャンスはございますので、積極的に進めていきたいと考えております。	建設経済部
持続可能	茶業振興	有機茶の輸出の金額はどのくらいか	日本茶全体として日本茶輸出促進協議会公表の今年の10月単月実績では、全体輸出額が36.6億円で前年同月比：21.9%増、全体輸出量は849.2tで前年同月比：14.5%増です。 なかでも米国向け輸出額は16.95億円、EU向け輸出額は5.82億円となります。 農林水産省公表値となりますが、令和5年における茶の輸出量に占める有機茶の割合は、米国において輸出量2,936トン、有機栽培827トン、有機割合28.2%となります。また、EU・英国においては、輸出量913トン、有機栽培707トン、有機割合77.4%であります。	建設経済部
持続可能	道路整備	街路樹により車の運転に支障がある場所がある。点検して改善してほしい。街路樹は必要最小限に植え、街の景観を保ってください。落葉樹は植えないで欲しい	街路樹については年間を通して市内の造園業者に緑化木管理の委託をしております。低木や高木がそれぞれございますが、交通量が多いところについては年数回、少ないところについては年1回実施しております。 また、実施するにあたっては造園業者と立会いの中で、安全を確認しながらできる限りのことはさせていただいております。 広葉樹につきまして、プラザけやきの前に広葉樹があり、枯葉が落ちるようになっていきます。今から植える木については広葉樹を植えることはほとんどなく、市道だと歩道の幅が狭く、人が歩いて横に車いすが歩くようなことを想定すると、これから歩道に木を植えることは少なくなってくると思っています。	建設経済部
持続可能	道路整備	掛川浜岡線バイパスもう少し詳しくわかるように期日などまた今後の計画見通しについて、また、掛浜バイパスが完成した場合非常に市の道路が少なく、やはりさびれてしまうと思います。何か具体策を考えているのでしょうか	掛川浜岡線バイパスにつきましては、赤土のセブンイレブンの少し南、江川を超えたところまで供用を開始しています。そこから直角に曲がって南71号線という道路を通過して山西を経由して、高橋中に繋げているような状態でございますが、ここの先につきましては、一般県道の大東菊川線、山を越えて下に道路があるんですけど、そこまでを令和8年3月までに供用を開始したいということで現在工事を進めております。 その先の佐栗谷方面ははまだ残り工区がありますが、一部軟弱地盤等もありますので、県で軟弱地盤対策工事などを実施しております。用地買収は概ね終わっておりますが、一部未買収地がありますので、完了すれば工事に入れるかと思えます。開通時期については今のところ未定です。 都市計画道路青葉通り嶺田線（市道井橋堂線）は、嶺田地内のポエム新月から下平川地内の遠州夢咲農協本店までの東西を結ぶ960mで、西の部分390mを道路局事業、東の部分570mを街路事業として、道路幅員16mの計画で整備を実施しており、現在、測量設計が完了し、用地買収に入っています。整備区間に位置する牛淵川に架かる小松洗橋が、狹隘で危険な状況となっており、通学路の安全対策が課題となっていました。橋梁工事は、非出水期での施工とするなど安全面に配慮した施工としており、仮堤防設置や仮設橋を架ける計画としているため、完成は令和12年度頃を予定しています。取り合いの道路工事を令和15年度頃までに完了し、開通を目指しています。 整備には、多額の事業費と長期の事業期間を要するものですが、国への要望活動を通じた予算確保など、積極的に整備を進めていきたいと考えております。	建設経済部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
持続可能	道路整備	県道244号線に歩道自転車も通行化を整備していただきたい。バイパスに繋がる高橋地内、路肩が狭く、歩行者、自転車の通行危険、特に朝夕の通勤時間帯	県道244号線の昔、商店があったところと消防団詰所から高橋の方に抜ける道ですが、この部分の整備につきましてはバイパス整備と重複する区間があり、そのエリアはバイパスとして整備をしますので両側歩道付きの道路になります。16mの幅員で3.5m程度の歩道が両側につくような形になります。 掛川浜岡バイパスについては、赤土のセブンイレブンがあるところから少し南の部分に南71号線という道路があり、そこまでは整備できておりますがその先がまだ工事中です。この先の大東菊川線までの部分につきましては、令和7年度末、令和8年3月までには工事を終えて供用開始をしたいと考えております。概ね予算の確保ができておりますので順調にいける見込みです。その先は用地買収が済んでない部分があります。こちらは県工区になりますので、静岡県の方で工事の方を進めていただきたいと考えております。	建設経済部
持続可能	道路整備	籠田橋への歩道橋設置の要望。前後に歩道があるが橋に歩道がなく大変危険であり、早急な設置を要望します。	籠田橋前後の県道小笠掛川線の歩道は整備が完了しております。県では籠田橋へ歩道を設置する計画はありますが、まだ未着手となっております。そのため、今後も市から県へ強く要望してまいります。	建設経済部
持続可能	道路整備	山道の両脇の木が覆いかぶさってトンネルのようになっているが、市へ相談すると、個人の土地なので切断できないという答えである。大型車は木の枝に当たりたくないため、車道の真ん中を通ってくるために大変危険です	山の両脇の木が覆いかぶさっているとのことですが、確かに多くの現場で見受けられます。山に入らなくなったというので、自らの所有者が管理をしなくなっているのが現状です。基本的に相談があると「個人のもので、個人の方に切っていただきたい」という回答はさせていただいているところですが、交通に影響がある場合は、やむを得ず市費で切っているのが現状でございます。ただ切るにあたって勝手に切れないというのが現状ですので、所有者を調べて通知をして、切ってくださいってとお願いをして、それでも切らない場合についてやむを得ず切るというような形をとっています。ただ全て切るのがなかなか大変ですので、幹線道路を優先させて、やらせていただいているのが現状でございます。	建設経済部
持続可能	道路整備	市内道路の丁字路の行き止まりが多すぎる。いつ解決するのか。	市内道路の丁字の行き止まりが多いことにつきましては、事業区間がそこで終わったということで確かにあると思います。申し訳ありませんが全て解決するのは時間がかかってしまう案件となります。	建設経済部
持続可能	道路整備	青葉通り嶺田線の早期開通をしてほしい。工事の開始に当たって川に仮橋をかけないということとはできないか	都市計画道路青葉通り嶺田線（市道井橋堂線）は、嶺田地内のポエム新月から下平川地内の遠州夢咲農協本店までの東西を結ぶ960mで、西の部分390mを道路局事業、東の部分570mを街路事業として、道路幅員16mの計画で整備を実施しており、現在、測量設計が完了し、用地買収に入っています。整備区間に位置する牛淵川に架かる小松洗橋が、狭隘で危険な状況となっており、通学路の安全対策が課題となっていました。橋梁工事は、非出水期での施工とするなど安全面に配慮した施工としており、仮堤防設置や仮設橋を架ける計画としているため、完成は令和12年度頃を予定しています。本来であれば、自動車も含めた仮設橋が必要となるものですが、自転車と歩行者のみ通行できる架設橋を予定しており、自動車については迂回いただく計画としています。取り合いの道路工事を令和15年度頃までに完了し、開通を目指しています。整備には、多額の事業費と長期の事業期間を要すものですが、国への要望活動を通じた予算確保など、積極的に整備を進めていきたいと考えております。	建設経済部
持続可能	道路整備	全車両が安全に走行できるような停止線の位置を引き直してください。ゼブラゾーンにより渋滞が発生する箇所があります。費用削減にもゼブラゾーンは最小限にしてほしい	道路の停止線と横断歩道ですが、公安委員会、警察署の所管になります。こちらについては市の地域支援課が窓口です。ゼブラゾーンの区画線は道路管理者になりますが、右折レーンのゼブラゾーンはルールに基づき設置していますので、ご理解をお願いします。	建設経済部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
持続可能	道路整備	加茂、西方線の渋滞解消について計画があるのか	堀田地内の加茂西方線なのですが、今年西方のバイパスの関係で調査を実施しています。堀田のガードの交通量が12時間でおよそ7,000台通っておりすごい台数になります。それが市道を通して県道の掛川浜岡線の方に流入・流出するような形になっています。これを抜本的に解決するためには西方のバイパス区間をしっかりと整備しないとできないと我々は思っております。ただ、バイパス工事はものすごい事業費が掛かりなかなか厳しいということで、令和5年から6年にかけて、加茂西方線の路肩の整理をさせていただいております。 バイパスの赤土から高橋に抜ける工区について、市施工部分は令和7年度末の供用開始を目指して今工事を進めています。そちらの目途が立ってきた部分がありますので、今年は交通量調査を実施して、来年掛川と一緒に調査を実施させていただきます。交通量調査をして、車の流入、入出について検討していくのですが、市や県がどのように整備をしていくか定めることにより、堀田の交通量も直接掛川浜岡線のバイパスに流れていきますので、解消されるのではないかと思います。ただ延長も長く、JRの上を通らなくてはいけないということがありますので、多額の事業費がかかることから、もう少し時間がかかるという状態です。	建設経済部
持続可能	農業振興	お茶を利用したブランド品の開発販売の工場を作っては	現在、お茶のブランド品の開発は市として行っておりません。市内の商工関係者の方でケーキ作りとかお菓子作りという形でお茶を利用しているものがありますが、工場まで作るまでのものは今のところ無いのが現状です。色々なアイデアを出していただくため、今年はお茶と農業と環境でビジネスコンテストを行っておりますので、その中で良いアイディアが出てくれば、起業などにより繋げていきたいと考えております。	建設経済部
持続可能	農業振興	農地の不耕作地に関し何か考えがありますか。昨今、耕作放棄地が年々増えているとお願い。今年対策をしていただけるのか方針はどうか	耕作放棄によりお茶の木が大きくなってしまった箇所が増加しております。そのような中で農地を効率、有効に使っていただくためには、今まで通りでは限界があります。後継者がいない現状であるため、いかに担い手の方に結びつけていくかが一番大事と考えております。そのような中で、河城地区の担い手がどのぐらいいるかという、だいたい18%程度であり、菊川市内でも低い状態になっています。水田だと一つの農家で大きくやられますが茶畑ですと難しいところがあると思っています。今市では「地域計画」を令和6年度に作成しました。これは、如何に担い手に農地を預かっていただくかっていうことを集約していくということで、効率の良い農地を生み出して貸していくというような形を今進めております。	建設経済部
持続可能	農業振興	少子化に伴う移住対策について、耕地整理された農地の転換等は検討されるか。蚕食的も強い都市化は農業にとっても不利益になると思います	耕地整理したところは農業のために投資をしておりますので、農地転用をかけて宅地化というのは基本的にはあまりないような形にはなりますが、大昔に整備した部分については青字が白地になっていれば転用可能ということで考えております。蚕食的な都市開発、要は乱開発で、できるところから虫食いのようにどんどん家を建ててくるということになりますと、道路や排水も整備されていないところに家を建ててしまうと問題も生じてきますので乱開発にならないようにと考えております。	建設経済部
持続可能	農業振興	農業の関係も若者が感じる産業育成	変化する農業情勢に対応した安定的な農業経営を営むことができるよう、地域農業の体質強化を図ることが必要です。市では、担い手への農地集積や高収益作物の研究、経営所得安定対策の実施並びに資金的な助成を行うとともに、次世代を担う若者への人材育成・高収益作物との複合経営による農業経営向上への取り組みを行っています。 また、若者に農業の魅力を感じてもらえるよう、DXにおけるスマート農業の推進や環境に配慮した有機農業などの新しい形態の農業や、農業が単なる生産活動だけでなく、SNSを活用したマーケティングなどが容易で農産物を直接消費者に販売することができるなど、多様なビジネスチャンスを提供する産業であることなどを若者を中心に情報発信する等若者に農業に関心を持ち関わっていただけるよう取り組んでいく必要があります。	建設経済部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
持続可能	ふるさと納税	ふるさと納税について詳しく聞きたい	ふるさと納税の実績ですが、令和4年度に5,271件で1億1,785万8,000円程度。1件当たり2万2,000円程度、令和5年度が3,282件で9,238万4,000円と前年度より少し下がっています。ただ1件当たり2万8,149円ということで単価は上がっています。 ふるさと納税は全国の市町村が競い合っているため、その競争を勝ち抜くのは、なかなか難しいところがあります。市町村によっては、ポイントがつくことがあったり商品券の関係があったりといういろいろな取り組んでいます、それも規制がかかっているものですから、なかなかできない部分がございます。菊川市の取り組みとして、令和5年度の例で言いますとゴルフ場にふるさと納税の自動販売機を設置しふるさと納税金額が1,071万円ほどとなります。ゴルフに来る方はどちらかというと、市外の方なので、来てその場でボタンを押せば、ふるさと納税で割引券が出てくるというような形でありますのでこれを継続していきます。その他では、枕の関係が市内ではトップの商品になっておりますが、枕は1回買ってしまおうとしばらくは使えますので、食べるものが大事と考えています。菊川市、魚はなかなか無理なので肉に力を入れていきたいということで、食肉センターの関係で経済連とタイアップして、市内の肉加工業者に新商品を作っていただきたいということをお願いしている段階です。できれば令和7年度以降、寄附額を増やしていきたいと考えております。	建設経済部
その他	空き家対策	耕作放棄地や空き家の課題について	耕作放棄、空き家を活用して移住といった取り組みは、民間レベルで行っているところもあります。また他の市町を参考にして活用していきたいと考えております。 今後も空き家が増えることが確実に予想されますので、引き続き空き家対策を行ってまいります。今年度住宅地図メーカーに委託をかけ、空き家の全数調査を実施し、市内の空き家の実態を把握したことから、今後分析するとともに、管理指導をしていきます。掛川市や森町では解体に対する補助金を今年度から始めておりますので、菊川市としても、耐震上問題がある空き家などの解体費用の補助について来年度の予算に向けて検討してまいります。	建設経済部
その他	菊川駅周辺整備	駅西側、東側の踏切の渋滞	現在、JR菊川駅南北自由通路整備に伴い、駅南広場の一般乗降エリアを規制していることから、ご迷惑をおかけします。令和8年3月に南北自由通路が開通した後、駅南広場の復旧、駅北広場の整備により交通が分散することで渋滞の緩和を見込んでおります。引き続き事業へのご理解ご協力をお願いします。	建設経済部
その他	菊川病院	病院の収支の悪化対策	菊川市立総合病院では、令和5年度に策定した「第5次中期計画（公立病院経営強化プラン）」に基づき、令和6年度から4年間の改善に向けた取り組みを進めています。計画の中では、目指すべき病院ビジョンである「急性期型地域多機能病院として、地域の救急・急性期医療体制を堅持すること」と「地域住民の暮らしを支える“つなぐ医療”を実現すること」の2本柱として、地域医療の実現とともに、年度ごとに経営指標として定めた数値目標の達成による経常収支の黒字化を目指しています。 数値目標の達成に向けては、組織開発と人材確保、組織体制の見直しと業務改革・コスト削減を実行し、経営基盤の強化を図ります。 収益確保の観点からは、患者数確保に向けた入院及び外来の受け入れ体制を見直すとともに、病床数の効率化及び診療体制の充実を図り、診療単価の向上に繋がります。 費用抑制及び管理体制の強化については、業務の見直し、職員配置の適正化とともに、医療機器や診療材料などの購買プロセスの厳格化や共同購入、経費及び委託業務等の精査・コスト抑制を推進して、コスト意識を高めていきます。	菊川病院

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
その他	教育環境整備	学校でiPad渡されていますが学習で使うよりも遊んでしまうことが多いので、iPadは学校でのみの使用にできないか	1人1台端末としてiPadが全員に今あるので、小学3年生以上が今自宅へ持ち帰って、宿題ですとか学校への通知ですとか、いろんなものに活用させていただいております。今後デジタル化がだんだん進んでいくということで、当然プリント等も夏休みの宿題とかいろんなものもデジタル化されていきますので、自宅の方でぜひ使っていただきたいというのは教育委員会の考え方です。うちで遊んでしまうということでもありますので、またしっかりとした使い方を学校でしっかりと指導して「こういうふうに使うんだよ」ということもやりながら、しっかりと活用していくようにしていきたいと思います。	教育文化部
その他	教育環境整備	小学生の通学上の安全対策として、スクールガードを各自治会で選出して活動いただいているが、中にはほぼ毎日付き添ってくれる方があり、今後自治会としての報酬等していなかったために今後報酬を支払う予定だか、市からの補助は考えられるのでしょうか	スクールガードという制度は、県内では牧之原地区が最初でした。軒先運動というのを牧之原で始めまして、家の前に子供が帰ってくる時間にみんな立ってもらって、安全安心を守るというものでした。それから不審者問題等々も出てきまして、スクールガードという形で本当に熱心にやっていただいているのですが、この活動もずっとボランティアできたものですから、保険の関係とか保障の関係とかいろいろあって大変難しさはあります。当番制でやっていたところもあるんですけど、それはやめて、もう本当にできる人ができるところでっていう形に変えてるところもありまして、正直すいません、今後も少しボランティアでやっていただくことになるかと思います。今のところ財政的な援助というのはないものですから、その辺はいろんな形で考えていきたいと思っています。コミュニティスクールというのをご存知かと思うんですけども、そこでも運営協議会というのを作りまして、このスクールガードについても少し話が出ています。そういう面からも検討はしていきたいと思っています。またご協力いただければと思います。今のところちょっと助成ということはないものですからすみません。そういうことでご理解いただければと思います。よろしくお願いいたします。	教育文化部
その他	教育環境整備	教育の充実について、不登校児童生徒数が増加しているが、市内の不登校児童生徒数は。教育委員会は各学校にどう指導しているか	不登校の子供は増えている状況です。全国的にもそうですけれども、市としては学校へ戻すという対策より、いろんなところに居場所を作るという対策に切り替えてやっています。中央公民館では「この指とまれ」という不登校の子供たちを集めた教室をやっています。できれば学校に通っていただければ非常にいいんですけども、居場所があるようにということでたくさんの子どもを集めているところです。それから学校にもステップルームという、なかなか教室に入れない子供たちが入る別室登校も設けまして、なるべく居場所作りに努めているところです。 それから主として小中一貫教育というのをやっていますが、これは中1ギャップと言って、小学校から中学校に行くときにギャップがあってなかなか不登校になりやすい、そういったことの対策の一つとして小中一貫教育も進めています。学校としても不登校にならないような魅力ある学校作り、楽しい学校作りに努めているところです。	教育文化部
その他	行政サービス	地区センターにチラシが3枚今までであった回覧版の利用ができなくなってしまい情報インフラサービスが下がっています。その対策は	S N Sでいろんな発信をしているので、それぞれ担当する課などに相談していただければ、そういうものを利用しながら発信することも可能ですし、どうしても紙ベースで欲しいという方もいらっしゃると思いますので、枚数を増やすなど、そういった調整も可能ですので、それぞれの各担当部署に問い合わせをしてください。	総務部
その他	行政サービス	菊川市の人口が減るなか将来、掛川・御前崎との合併もあるのか	合併でうまくいった市町ばかりではないですが、菊川市はかなりの成功事例だといろいろなところで言われています。しかし、新たな合併については、簡単にできる話ではないと考えています。	企画財政部
その他	行政サービス	IT時代パソコンや携帯がなければ情報が入りきらない。ペーパーレス化で公共料金の支払いも紙を希望すると料金が掛かる。どんどん高齢化が進む中で高齢者は取り残されないのか	現在、事務のＩＴ化などいろいろなことが進んでいます。旧町の頃に比べて、行政で扱うデータの量や事務が非常に複雑になっています。昔のように紙で処理するのでは、時間もかかりますし、間違いも起こりますので、ＩＴや電算処理でやらせていただくことになります。行政の効率化という点でご理解いただきたいと思っています。 皆さまへのサービスにおいて、市役所は全てＩＴでなくては駄目だという形には、今すぐなることはありません。当然使えない人もいるということを踏まえ、紙も残していく必要があると思っています。これについては菊川市だけでなく、国もしっかり考えており、基本的には誰でも使えるユニバーサルデザイン、それからデジタル・ディバイドと言って、格差があることは当然承知しています。そういったものをいかになくしていくかも、国の取り組みの一つではないかと思っていますので、行政サービスにおいてはそういったことを配慮しながらやっていきたいと考えています。	企画財政部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
その他	行政サービス	作業改善10カ条行政運営の方針の達成度の達成状況は、一応誰がどのような形で行うのですか。その評価、特に低い場合はどのような形で実行度の高いフィードバックや改善策がとられるのですか	作業改善の10カ条これも本当にイズムというか、こういうふうに考えてやりますよということです。特に「できない説明よりもやる方法を考えましょう」ということ。ただ役所のやることというのは法律に基づいてやっていることが多いものですから、どうしても法律上できないっていうことも当然あります。そういったものが「こちらはできないけどこうしたらできるんじゃないか」というような形でいろんなことをやっていきましょうということのをです、市の職員といろんなところで話をさせてもらっています。新採の職員には必ず私も今1年目、2年目、3年目、4年目の職員必ず入る前にこういった話もさせてもらっていますし、課長会議のときも「こういった考えでぜひ仕事をしていしましょう。市民目線で合わせてやっていしましょう。」ということをお願いしています。それがフィードバックでの形で少しずつイズムが広まっているというふうに思いますし、そうじゃないときには必ず各部長各課長からこうしていましょうということやらせてもらっております。	総務部
その他	行政サービス	マイナンバーカードひもづけについて、運転免許証と一緒にすると聞いていますが菊川市としてどんな対応を考えていますか	マイナ免許証は、御本人の選択により、お手持ちのマイナンバーカードのICチップに免許情報の書き込みが可能となる仕組みで、「住所変更が簡単（市区町村へ届出た住民異動が自動的に反映）」「更新時講習がオンラインで受講可能（対象となる条件あり）」「更新手数料が安い」などのメリットがあります。今後、警察庁等からの情報提供があれば、マイナンバーカードの交付のタイミングなどに制度紹介を行ってまいります。	企画 財政部
その他	健康長寿	認知症基本法は今市ではどう取り扱っているのか	既存の事業においても同法に準じた内容の取組みを実施しており、認知症サポーター養成講座やアルツハイマー月間イベント等様々な機会を捉え、新しい認知症観についての周知啓発や認知症当事者またはその家族の参画や意見聴取を大切にしております。国の方針のとおり施行することも大切ですが、認知症当事者からの意見や思い、その家族等からの意見を取り入れた中で認知症施策を推進していくことが重要であると考えております。今後も、認知症当事者等の意見を丁寧を確認しながら、共生社会の実現に向けて進めていきたいと考えております。	健康福祉部
その他	公共施設の活用	駅前のマンションにより人口が増加していますが駐車場が不足しています。市の駐車場の活用など考えてもらえないでしょうか	市役所駐車場については、来庁者と併設する図書館菊川文庫、堀之内体育館の利用者のための駐車場となるため、来庁者以外の方はご利用は考えておりません。駅や駅周辺をご利用の方に向けては、市役所東側に、どなたでもご利用可能な有料駐車場を整備しておりますのでご活用ください。	企画 財政部
その他	国勢調査	アパート住まいの外国人に対する国勢調査どうするか自治会任せでは負担が大きい	国勢調査5年に一度の全数調査で令和7年度が次の調査になります。これまで調査員については自治会に選出をしていただいていたましたが、現在、少しでも自治会の負担を減らすように調査員の選考についての協議をしています。自治会の負担がなるべく減るようにしたいと考えています。	企画 財政部
その他	財政	103万円の壁も178万円に引き上げた場合の菊川市の税収の減少はおおよそどれくらいか。国の交付金に頼る議論ばかりではなく、これを機会にコスト削減に取り組むべきではないか	現在、国会でも議論になっている個人の所得税、住民税ですが、課税に係る最低の金額の部分を103万から178万円にする議論が進んでいます。金額が決定していませんが、この金額になると、地方で約4兆円の税収が減ると言われております。菊川市の市民税において試算すると、約8億円に相当します。その約8億円は当市の市民税の総額が約25億円に対し3分の1が減ることとなります。近年の市の平均年間予算の約220億円に対しては、影響が3.6%となり非常に大きな金額となります。市民税の減収について、国に地方の財源を窮することがないように地方からも要望を挙げているところであり、今後の議論は市としても注視する必要があります。 また、「国の交付金に頼らずにコスト削減を」については、毎年度、各種事業の見直しを実施し、予算編成において効率的に市税を無駄にしないよう苦慮しつつ予算を組んでいます。その中でも物価上昇により物件費も上がっていることから、やりくりをしつつ予算編成に取り組んでいます。今回のこの減税による地方の税収減については、国に対し、確実に担保するように地方からも声を上げていく必要があります。	企画 財政部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
その他	財政	仮徴収ということで先に多く取って還付ってというのは手間が発生しないようにしていただきたい	国民健康保険税の年金特別徴収での本算定前の仮徴収のことだと思われますが、国民健康保険税の本算定が7月にあり当該年度の税額が確定する前の年金から引かれる国保税は前年の税額を基にして2月分の半額を毎月（4月、6月、8月）に仮徴収として納付していただきます。この仮徴収の制度は、年税額を本算定後の年金から天引きすると年間の税額を3回（10月、12月、2月）で納めることにし本算定後の負担を軽減するものであり、年金受給のみの方は毎年所得の変動が少ないことから仮徴収により、年間の税額を均しています。 今回の場合では、前年本算定時の所得が多くあり、今年の本算定の所得が下がったことで発生したものであると考えられますが、所得状況が確定していない時点では仮徴収を止めることは出来ないものであります。この場合には、どうしても還付が発生してしまうものであり、市としても手間は減らしたいと考えておりますが、3月の確定申告での所得確定や年金事務所との手続きに時間が必要となるため還付が発生してしまいます。 また、市では、過去に起きた年税額の変動により仮徴収の金額と本算定後の金額が大きく変わらないようにするため、手作業で仮徴収額を本算定後の徴収額が大きく変わらないようにするための平準化を行い、年金受取額が大きく変わらないようにしています。	企画財政部
その他	自治会	自治会文書の配布回数を減らしてほしい。ペーパーレス化を進めてほしい	令和4年度に庁内で話し合いを行い、自治会文書の削減を進めていき、自治会の方の負担をなるべく減らそうという取り組みを進めているところです。しかしながら、実際にはまだまだ紙ベースのお知らせが多いというのが現状です。また、まだ紙で欲しいという方も居るものですから、そこは一気にペーパーレスに変えていくことは、なかなかできないと思います。例えば、班回覧や、各戸配布する文書がありますが、いずれそういった文書を広報紙の方に移行していった、少しでも紙を減らしていきたいと考えております。	総務部
その他	除草作業・野焼き	河川堤防の草刈りについて	河川の草刈りにつきましては地元の皆さんに大変ご迷惑をかけていただいていたのが現状でございます。 国の河川の場合は、国が刈っていただいておりますが、県の管理河川は、皆さんにお願いしているのが現状でございます。 県も市も乗用や乗用でない草刈り機の購入をして自治会等の方に貸し出しをしています、高齢化してきており全ての河川を刈りきるのが難しい状態とお聞きしております。 今まで河川全て堤防の天端から下まで刈っていただいたところもありますし、大変なところについては最低限の草刈りの幅で堤防の天端から1メートルぐらいを両脇刈って、堤防の管理に支障がない程度として抑えているとも聞いています。 これは大きな課題でございますので、また県の方に対しての要望なども引き続き実施していきたいと思っております。抜本的な改革について今お答えできるものではございません。	建設経済部
その他	除草作業・野焼き	秋の収穫後に行われる野焼きの煙における苦情が寄せられて困っています。住民の通報により消防車が出動したことが何度もありますが、まだ行われているのが現状です	堤防の草だけではなくて耕作地の草を刈ったときなどで野焼きをする人であるということがあると思います。消防署は、火災危険がある場合については、出動し中止させることがあるというのは聞いております。工場については環境推進課からの問いの問題とか、農林課から農地の管理の問題、耕作者については農林課ので大規模耕作者と繋がりがございますので、そちらに話をさせていただきたいと思っております。	消防本部
その他	治水対策	吉沢川治水について 吉沢自治会で氾濫場所を側板で処置。本格工事を希望したが返事がない	県及び建設課で対応しております。本年度は県道内に水路を追加する工事を予定しておりますので、詳細はについて今後自治会長に連絡する予定となっております。	建設経済部
その他	茶文字の活用	友田に「小笠茶産地」という茶文字畑がありますが、文化財的なもの、あるいは産業遺産というようなとらえ方で、保全管理できないか	明治時代に輸出をしていたという歴史的な経緯、昔は横浜や清水から静岡県のお茶がアメリカに行っていたということも含めて、文化遺産または産業遺産など、どういうものがあるのかわかりませんが、研究を進める必要があると思いますので、お話を受けとめておきたいと思います。 明治時代に輸出をしていた中で赤レンガ倉庫の代表の方が整備している際に行ったと聞いた記憶があります。昔は横浜や清水から静岡県のお茶がアメリカに行っていたという歴史的な経緯も含めて、文化遺産や社会遺産として申し込みができるような内容なのかも含めて、研究を進めます。	教育文化部・建設経済部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
その他	道路整備	原発が10キロ以内にあり原発交付金が払われているが、それは小笠南地区ではなく他の所の事業に使われており、具体的な説明を伺いたい	平田のバス停、相良大須賀線までがちょうど浜岡原発10キロ圏ということで、旧小笠町時代からこの範囲は変えておりませんし、条件を遵守し全て10キロ圏の中で使わせていただいております。具体的には、河東西の神社の下の道路について要望を受けて、今年測量を行い来年工事を計画しております。また、掛川浜岡線のバイパスについても、これは県事業なんですが核燃料税を充当し、お金を使わせてやらせていただいております。	建設経済部
その他	道路整備	交通規制に伴い自転車通行道路の整備はどうか	駅南側の市道中央通り線には自転車専用エリアが設置されています。また、県道市道に歩道でも自転車通行が可能とする自歩道として指定もしている歩道が各地にあります。今後は路側や車道部に「矢羽根マーク」を設置する方向となっています。	建設経済部
その他	物価高騰	市税についても考えてもらいたい。物価高対策(賃金増や補助)	住民税及び所得税の定額減税や定額減税による減税をしきれない納税者への調整給付金の給付、住民税非課税世帯等臨時特別給付金をはじめ、国の物価高騰対応の交付金を活用した、省エネ家電製品の購入補助や給食費増額分の保護者負担の軽減支援などを実施しています。	企画財政部
その他	南保育園跡地利用	南保育園の建物がそのままに放置されている。今後具体的な使用を考えているのか。市民サロンなどに貸してサロンをやってもらい、住民が集まる場を考えてほしい	公立幼稚園と私立保育園の再編により、みなみこども園については、現在、社会福祉法人菊川福祉会が運営しております。旧みなみ保育園に関しても、菊川福祉会が権利を持っていますので、何らかのことで活用できないかというご意見があったことをお伝えさせていただきます。	こども未来部
その他	民生児童委員	民生児童委員 来年、改選時期を迎えますが、選出が困難な地区もあると思います。定年が延長されていることや、年金だけでは生活ができず、週40時間のフルタイムで働かなければならない人が増加していくと思います。法律で無報酬と定めており、市でも難しい面もあることを承知していますが、地区の状況に柔軟な選任ができるようにするなど持続可能な制度運用にしてほしい	民生委員・児童委員の改選は民生委員法第10条により任期が3年と定められており、令和7年12月に一斉改選が行われます。民生委員・児童委員の身分は厚生労働大臣から委嘱された非常勤の特別職の地方公務員になります。改選時期は12月ではありますが、委嘱に際し事前に国に候補者推薦を実施する必要があることから1年前の令和6年11月の連合自治会会議で選出依頼を行い、各地区からの委員候補者の推薦をお願いしています。どの地区・自治会からも候補者の推薦にご苦労しているのご意見がある事は承知しており、全国的にも同様の課題があるため、静岡県では選任要件の見直しなどが進められています。本市においても今回の一斉改選に当たり、静岡県の選任要件の見直しに準じて、前回改選まで新任委員は原則69歳未満としていた年齢制限を75歳未満まで引き上げ、再任の委員については健康であれば年齢制限を設けないこととしました。これにより候補者の幅を広げ、より多くの方に民生委員・児童委員のなり手となっただけになりました。また、民生委員・児童委員は給与は支給されませんが活動の費用弁償として、市から年間110,000円をお支払いしています。お願いする業務についても負担軽減となるように見直しを行うなど、持続可能な制度となるように引き続き国・県と連携しながら進めていきたいと思っています。	健康福祉部
その他	リニア水問題	リニアの工事について菊川市ってどう考えてますか。自分の家が沈んでしまったり、水が枯れてしまうのは困ります	リニア中央新幹線は、東京の品川から名古屋までの区間の工事が始まっています。静岡県は静岡市の一番奥、南アルプスのトンネル工事が実施されます。そのトンネルの上を大井川の源流が流れていて、その水がトンネルに流出し、大井川の水が減ってしまうという心配の声があり、大井川の水資源の保全に向けて、国や県でＪＲ東海と対話が始まりました。 国の専門家の会議の中で、トンネルの湧水量を全て大井川に戻せばそれは中下流域の河川の水は担保されるという結論が出されたので、現在、トンネル湧水をどのように大井川に戻すかなどの対話が行われています。 生活水、農業用水が減少しては困りますので、県や他の流域市町とともに国、ＪＲ東海に要望しながら、現在の水量・水質については確実に確保していくために、繰り返し流域住民や事業者の皆さまの声を伝えています。	企画財政部
その他		シルバー人材センター講習（草刈りなど）加入のチラシ	高齢者の労働支援や社会参加のきっかけづくりの1つとして、シルバー人材センターの会員募集チラシをプラザけやきに常時配架しております。また、令和6年度菊川市敬老会において、当日出席された77・80歳全員に同様の会員募集のチラシを配布し、シルバー人材センター会員の増加につながるための取り組みを実施しております。	健康福祉部